

第三十七回 衆議院議事速記録第十八號

大正五年一月二十九日(土曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第十七號 大正五年一月二十九日

午後一時開議

第一 北海道會法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 議院法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎君)

第一讀會

第六 齒科醫師法中改正法律案(綾部惣兵衛君)

第一讀會

第七 社寺上下地房ニ關スル法律案(齋藤隆夫君)

第一讀會

第八 醫師法中改正法律案(山根正次君)

第一讀會

第九 私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案(林毅隆君外二名提出)

第一讀會

第十 中等教員優遇ニ關スル建議案(河野正次君)

第一讀會

第十一 大阪、堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案(石橋爲之助君)

第一讀會

第十二 京都監獄移轉ニ關スル建議案(森田茂君提出)

第一讀會

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市制中改正法律案

提出者 齋藤 隆夫君

町村制改正法律案

提出者 齋藤 隆夫君

濠洲及英領南洋ノ排日除去ニ關スル建議案

提出者 小 西 和君 高木 正年君

南太平洋航路開始ニ關スル建議案

提出者 小 西 和君 高木 正年君

財團法人同仁會事業國庫補助ニ關スル建議案

提出者 山根 正次君 加藤 小太郎君 黑須 龍太郎君

酒造稅納期繰下ニ關スル建議案

提出者 川上 榮太郎君 野尻 岩次郎君

岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 四田 銳吉君 上埜 安太郎君 谷 欽太郎君

飛騨縱貫鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 四田 銳吉君 上埜 安太郎君 谷 欽太郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

名古屋監獄失火ニ關スル質問主意書

提出者 小山 松壽君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去二十七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

大正三年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)

江間 俊一君 橫田 孝史君

齋藤 宇一郎君 井原喜代太郎君

兒玉 亮太郎君 柏原 文太郎君

大島 久滿次君 小森 雄介君

齋藤 喜十郎君 高木 正年君

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件 龍口 了信君

豐增 龍次郎君 大原 義剛君

室木 彌次郎君 高柳 覺太郎君

鳩山 一郎君 重盛 信近君

衆議院議員選舉法中改正法律案

小泉 又次郎君 本田 恆之君

山道 襄一君 長澤 倉吉君

津末 良介君 相島 勘次郎君

廣岡 宇一郎君 丸山 豐治郎君

吉原 正隆君 吉田 磯吉君

岸本 賀昌君 宮原 幸三郎君

又製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案ノ委員欄瀬軍之佐君、淺野陽吉君辭任ニ

付其補闕トシテ守屋此助君、石田平吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

委員異動 昨二十八日家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件委員重盛信近

君辭任ニ付其補闕トシテ丸山芳介君ヲ、大正三年度豫備金支出ノ件外三件(承

諾ヲ求ムル件)委員原脩次郎君辭任ニ付其補闕トシテ田中喜太郎君ヲ議長ニ於テ

孰レモ選任セリ

理事補闕選舉 昨二十八日教育費國庫支辨ニ關スル建議案委員會理事補闕

選舉ノ結果左ノ如シ

教育費國庫支辨ニ關スル建議案

理事樋口秀雄君(理事岸本賀昌君補闕)

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

大正三年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)委員會

委員長 江間 俊一君 理事 山田 珠一君

委員 川崎 安之助君

衆議院議員選舉法中改正法律案委員會

委員長 川崎 克君 理事 岸本 賀昌君

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件委員會

委員長 豐 增 龍次郎君 理事 山道 襄一君

委員 龍口 了信君

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス

第一 北海道會法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ特別委員ニ付託シ、審查セラレムコトヲ望ミマス

第二條 北海道會議員ハ名譽職トス
議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
第五條中第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク
二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
第七條中「北海道廳ノ官吏」ヲ「下ニ北海道地方費ノ有給吏員」ヲ加ヘ同條第四項ヲ左ノ如ク改ム
北海道廳ノ爲請員ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス
第八條中「其ノ職ヲ失フ」ノ下ニ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外」ヲ加フ
第十條中「第二次ノ通常會」ヲ「次ノ通常會」ニ改ム

附則
第二條ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス
舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス
舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス
大正三年度北海道地方費決算ハ大正五年ノ通常會ニ報告スヘシ

○政府委員(藤澤幾之輔君) 現行北海道會法ニ於キマシテハ、御承知ノ通り議員ノ任期ハ二箇年トナシ居ルノデガザリマス、然レ今今日ニ至リマシテハ、ヤハリ此府縣會議員ト均シク四年ト致シマスル方ガ適當ナルト考ヘマシテ、其如クニ改正シタイト云フノガ一箇條デガザリマス、ソレカラ現行ノ道會法ニ於キマシテハ、任期ノ起算點ノ規定ガ缺如致シテ居リマスカラシテ、其規定ヲ設ケタイト云フノガ一箇條デガザリマス、ソレカラ又地方費ニ對スル決算アリマスルガ、是ハ政府ノ規定ヲ準用致シマシテ、地方費ノ出納ニ關スル事務ハ、本案ニ於テ政府ト同ジク年度經過後四箇月以内ニ之ヲ完成スルコトニナシテ居ルノデガザリマスガ、今日ノ如ク交通通信ノ機關ガ漸次發達致シテ參リカシテ以上ハ、府縣ヨリモ尙一箇年遅レサセナケレバナラヌト云フ必要ガナイト存ジマスルカラシテ、府縣ト同様ニ是ハヤハリ其制度ニ改メタイト存スルノデアリマス、ソレカラ道會議員ノ選舉權被選舉權ニ付キマシテモ、御承知ノ通り刑法ノ改正モアリマスルシ、ソレカラ又昨年府縣制ノ改正モアッタノデアリマスルカラシテ、之ニ則テ改正シタイト云フノモ亦其一箇條デガザリマス、殊ニ本年ノ八月ハ道會議員ノ總選舉ニ當ルノデアリマスカラ、此機會ヲ適當ノ機會ト存ジマシテ本案ヲ提出致シタノデアリマスルカラ、御審查ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス
○議長(島田三郎君) 別ニ御質疑ハナイト認メマス、日程第二ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(島田三郎君) 福君ノ説ニ御異議ガナイト認メマス、ツレニ決シマス——日
程第三、議院法中改正法案、之ヲ議題トシテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ
報告ガアリマス——委員長木田君

第三 議院法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(米田實君登壇)

○米田實君 本員ハ此ニ議院法中改正法律案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報告致
シマス、本案 議院法ノ第十七條ノ二項ヲ改正致シテ、從來判任官ニ在ルモノヲ
此條項ニ於テ奏任官ト認メタイト云フノ改正ノ趣旨デアリマス、サウ致シマシテ其內
容ニ合ハレテ居ルトコロハ、ドウ云フモノヲ奏任官ニ進メルカ、斯ウ言ヒマスルト、守衛
長ヲ奏任官ニ進メタイト云フ趣旨ニ出テ居ルデアリマス、而シテ本案ニ付マシテハ、案
ハ極ク簡單デアリマスルガ、議院法ガ憲法附屬ノ重要ナル法律デアルガ故ニ、此改正ト
云フコトニ付テハ十分ノ討議ヲ盡スト云フコトデ、十分ニ討議ヲ盡シタノデアリマス、ソコ
デ先ヅ本案ニ付テ各委員間ニ一致シテ居ル點ハ、守衛長ヲ奏任官ニスルト云フコトニ
付テハ各員一致シテ居ル、ツレカラ又議院法ナルモノハ憲法附屬ノ法律デアルガ故ニ、
十分ニ審議シ向又此附屬ノ法規タルガ故ニ餘リ手ヲ著ケナイデ、改正ノ趣旨ヲ貫ク
コトニシタイト云フ點ニ於テモ、委員間ニ於テ一致シテ居ルデアリマス、唯問題ト相
成リマシタノハ、之ヲ議院法中何レノ法律ニ入レルカ、即チ第十六條ノ方ノ法律ニ入レ
ルモノデアルカ、將又政府案ノ如ク第十七條ノ第二項ニ依テ、奏任官ヲ認メルコト
ノ法律ニスルカト云フ點ニ於テハ、非常ニ委員會ニ於テ議論ガアツタデアリマス、先ヅ
政府ガ此第十七條ノ第三項ニ依テ認メルメタイト云フ趣旨ハ、何レニ在ルカト云フト、
第一ハ職務ノ點デアリマス、其職務ハ——守衛長ノ職務ナルモノハ、第十六條ニ規定
サレタ所ノ書記官ノ如ク職務ヲ重要トシテ居ラヌデアアル、テ書記官ノ下ニ附イテ居ル
守衛長デアアル、書記官ト同一視スル重要ノ程度デハナイト云フノガ一ツ、是ガ即チ第
十六條ニ入レルモノ寧ロ第十七條ヲ改正シテ入レタイト云フノガ一ツノ理由デアリマ
ス、ツレカラ第二ノ點ハ任用方法モ變テ居ルデアアル、即チ第十六條ニ依ル所ノ書記
官長、書記官ナルモノハ高等文官試験ニ及第シテ居ル一般高等文官デアリ、守衛長ハサ
ウデナク特別任用デアアル、一種ノ技能ヲ有スル所ノ人ヲ要スルデアアルガ故ニ、特別
任用ノ方法ニ依ルデアルカラ、此法文第十七條第十六條ハ法律ノ上ニ於テ保護ヲ
方ガ穩當デアアル、是ガ第二、其次ガ第十七條第十六條トハ法律ノ上ニ於テ保護ヲ
異ニシテ居ル、是ガ理由デモザイマス、何故カト云ヒマス、第十六條ニ於ケル所ノ書記
官長書記官ト云フモノハ、裁判官ノ如ク終身官デハナイ、終身官デハゴザイマスガ、官
制ト云フ上ニ於テ認メラレテ居ルデアアル、書記官長書記官ト云フモノハ官制ニ認メラレ
テ居ル、官制ニ認メラレテ居ルガ故ニ——官制ニ認メラレテ居ル法律ヲ認メラレテ居
ルコトガ第十七條ニ於ケル所ノ第三項ノ職員ト云フモノハ、是ハ法律ハ職員デケテ認メテ居
テ、サウシテ其職員ノ中ニ合ハレテ居ル所ノ守衛長トカ、速記技手トカ云フヤウナ風ノ
職員ノ某ト云フ名稱ヲ指スモノハ認メラレテ居ラヌデアアル、ツレテ法律ノ保護ノ程度ヲ異
シテ居ルデアアル、乃チ官制ノ改革ト云フ上ニ於テ、第十六條ニ依ル書記官長書記官ハ
廢官ナドト云フコトハ更ニ無イデアアル、法律ヲ以テ更ニ此書記官長ナリ書記官ヲ改メ
ナイ以上ハ廢官ハナラナイデアアル、併ガ第十七條ニ於ケル所ノ職員ト云フ中ニハ職
員ガアルト云フコトヲ認メテ居ルニ過ギナイ、職員中ニ某某ヲ認メテ居ラヌガ故ニ、官制
ニ於テ改廢スルト云フコトガ出來得ルデアアルカラ、保護ノ程度ガ違フガ故ニ、此點カラ

持ッテ行ッテ第十六條ニ加ヘルコトガ出來ヌト云フガ一ツノ理由、今一ツノ理由、第十
七條ナリ第十六條ノ議院法ニ於テ書記官長ト書記官ト云フコトヲ法律ニ認メテ、其他
ノ職員ヲ勅令ニ認メルメシムルノ形式ヲ執ッテ居ル、ツレテ故ラニ法律ヲ以テ認メル
ト云フ必要ハ無イデアアル、守衛長ハソコマデニ重要視シナイデアアル、斯様ナ理由ノ下ニ
政府ガ第十七條ノ第二項ニ依テ入レタイト云フノガ重ナル趣旨デアリマス、所ガ是ニ對シ
テ修正說ガ出マシタ、其修正說ハ二士忠造君カラ出マシテ、是ハ第十六條ニ入レネハ
ナラヌト云フ譯デ、第十六條ノ第一項中「書記官數人」ノ下ニ「及守衛長一人」ヲ加フ
同條第二項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長」ヲ加フ、ツレカラ第十七條第二項ノ次ニ左
ノ一項ヲ加フ「守衛長ハ守衛番長以下ヲ部署シ院中取締ニ任ス」ト云フコト同條第三
項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長ヲ置ク」、斯ウ云フ修正案ガ出マシタ、此修正案ノ理由
ハ新タニ守衛長ヲ奏任官ニスルデアアル、而シテ此議院法ノ第十六條ト云フモノハ奏任官
規定シテ居ル法律デアアル、既ニ奏任官規定シテ居ル法律アラバ、明カニ守衛長ヲ奏任
スルト同時ニ、此第十六條ニ加ヘタラ宜シイト云フガ一ツノ理由、ツレカラ第二ノ理由
ト致シマシテハ、守衛長ト云フ者ノ地位ハ議員ヲ保護スル所ノ重大ナル職務デアアル、之ヲ
官制ニ認メルト云フコトニ致シマス、主務官廳ガ勅令ヲ改正シテ勝手ニ之ヲ改廢スルヤ
ウナコトガ出來得ルデアアル、左様ナ横暴ナコトヲ認メテハイケンナイデアアル、此故ニ法律
ヲ以テ明カニ規定スルノ必要ガアル、故ニ第十六條ニ加フルノカ穩當デアアルト云フノガ第
二ノ理由デアリマス、ツレカラ第二ノ理由ハ由テ致シテハ、憲法第十條ニ掲ゲタル所ノ「行
政各部ノ官制及文武官」ト云フ事柄ハ、議院法ニ定メタル官吏ハ該ラヌデアアル、
是カラ取除ケラレテ居ルデアアル、ツレテ故ニドウシテモ之ヲ法律ヲ認メルト云フ上ハ、議
院法ノ第十六條ニ規定スル方ガ穩當デアアルト云フノガ、即チ修正案ノ主ナル理由デアリ
マス、此修正案ノ理由ハ二對シマシテ更ニ委員會中ノ一人織田君カラ、憲法第十條ニ依
ナイ所ノ官吏ハ一人モ無イデアアルト云フ反駁ガアリマシテ、委員會ハ十分審議ヲ致シマ
シタ結果、原案贊成者ガ五名、修正案贊成者ガ三名ト云フヤウナ結果、政府案ガ通
過致シタ次第デアリマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○高木益太郎君 議長

○議長(島田三郎君) 高木君

○高木益太郎君 委員長ニ質問ガアリマス、委員會デハ此大切ナ議院法ノ審査ノ上
ニ於テ、十分ニ御審議ヲ盡サレタ勞ハ本員ハ多トスルデアリマスガ、此處ニ伺ッテ置キタ
イノハ、此委員會ニ於テ議院法ノ第十六條ノ第二項書記官長ハ勅任トシ書記官ハ奏
任トスト云フ此改正ニ對シマシテ、議院ノ書記官長ハ議院自ラ任命スルト云フコトノ發
議ガ出マシタゴザイマセウカ、如何デモザイマスガ、此守衛長ノコトモ大切デモザイマス
ガ、免ニ角議院法ト云フモノハ、唯今委員長ノ仰セノ如ク安リニ手ヲ著クベカラザルモノ
デアアル、樞密院其他イロ／＼ノ慎重ナル手續ヲ經ナケレバナラヌト云フノデアリマスガ、
必ズ政府モ議院法全體ニ向テ御審議ニナリ、又委員會ニ於テモ御考ニナッタコトデア
ラウト思ヒマスガ、今日ハ守衛長ト云フコトモ或ハ必要カモ知レマセウガ、議會ノ上カラ見
マシレバ誠ニ微々タル地位ノモノデアリマシテ、書記官長ニ就テハドウデアアルカト云フコト、
免ニ角日本ノ憲法政治ハ一大活點ヲ流シ、現ニ刑事被告事件ト云フモノハ繼續シテ
居ル、其原因ハ澤山アリマセウケレドモ畢竟スルニ此議院ノ事務機關ト云フモノヲ、議院
自ラ任命セズシテ政府ガ任命スル、行政府ガ任命スル、行政府ニ對シテ立法機關ハ獨
立シテ居ルデアアルノニ、他ノ機關ガ立法機關ノ書記官長ノ外總テノ機關ヲ任命スルト
云フコトデアアルカラ、畢竟スルニ書記官長ハ議院ノ大切デアルト云フコトヲ忘レテ、政府
ノ走狗ト爲ッテ政府ノ爲ニ數方圓ノ金ヲ受取ッテ、サウシテ議員ヲ買収スルト云フ此犯

罪行為加工スルヲ云フヤウナ不幸ガ出來タノデアリマス、是ハ議院ノ事務官ハ議院自
ラ任命スル、日本ノ議會以外ニ歐米ノ各國ニ於キマシテハ、議院ノ機關ハ議院ガ盡ク
任命シテ居ル、然ルニ日本ノ議院法ハ明治二十一年法制局草案シテ議會ノ開カレント
スルトキニ出來タモノデアリマス、政府ノ權力ヲ強クスルガ爲ニ、議會ノ機關ノ事務
官マデ政府ガ任命スルヲ云フヤウナ、立憲國ノ通常ノ狀態ニ背イテ來テ居ルト思フ、ソコ
此條文ニ手ヲ入レル以上ハ、守衛長バカリデナイ、書記官長ハ勅任トシト云フノヲ、書
記官長ハ議院自ラ之ヲ任命ス、斯ウ云フコトニ守衛長ハ勿論デアリマス、此點ニ就テ御
審議ガアッタデアリマセウカドウデゴザイマス

○米田實君 御答致シマス、サウ云フ點ハ委員會ニ於キマシテモ餘リ議論ハ出マセナ
カッタ、任命ノ程度ガ誰カラスルト云フヤウナコトハナカッタヤウデアリマス、サウシテ今御尋
ノ點ハ要スルニ憲法ノ十條ノ解釋問題ニ歸サウト思フデアリマス、ソレダケ御答シテ置
キマス

○高木益太郎君 解釋問題デハゴザイマセヌ、新ラシク法律ヲ作ル、從來ノ法律ト云
フモノハ政府ガ任命スルコトニナツテ居ルカラ、此條文ニ手ヲ著ケル以上ハ議會ガ
任命スル、議會自ラ之ヲ極メルト云フコトニ立法ヲ變ヘルト云フ、何カ其點ニ付テ御審
議ガアッタカドウカ

○米田實君 ソレハ無カッタデス、唯書記官ノ外他ノ必要ナル職員中判任官以下ハ
書記官長之ヲ任命スト云フコトニ於テ、委任官ノ制ヲ設ケ得ルト云フコトニナツタノデア
リマス

○高木益太郎君 尙政府ニ御尋シテ見タイノデアリマス、唯今ノ點ニ對シテ政府ニ本
員ガ發議シタ點ニ對シテ、政府ハドウ云フ意見ヲ持ッテ居ルカ、ヤハリ此議院ノ立法機
關ノ職員ヲ行政府タルコトヲ政府ガ、任命權ヲ持タントスルノデアルカドウデアルカ、此
憲法ノ五十一條ニ依ルト云フ、兩議院ノ職員ハ憲法ノ五十一條ノ明文カラ云ヘバ、
議院カラ任命スルノガ憲法ノ精神ノヤウニ考ヘラレテ居ル、又憲法ノ第十條ニ依ルト云
フ「天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス」ト書イテア
ルカラシテ、行政官デアラナラバ、天皇ガ御任免ニナルノガ相當デアリマセウケレドモ、行
政官デナク立法府ノ人間デアリマス、立法府ノ附屬機關ニ付マシテハ、立法府之ヲ任
命スルト云フコトガ憲法第十條及憲法五十一條ノ明文及精神ニ照シテ當然ノヤウニ
考ヘルノデアリマス、其點ニ於テ政府ノ意見ハドウ云フ意見ヲ持ッテ居ラレマス、竝ニ
斯ウ云フ些々タル守衛長ナド、云フヤウナ問題ニ手ヲ著ケル以上ハ、議院法ヲ拵ヘタ
ノハ明治二十一年ニ立案セラレテ茲ニ殆ド三十年ニ近イ星霜ヲ經テ居ル、議院法ノ豫
算審查ノ期間、特ニ衆議院ガ豫算審查ノ期間ヲ二十一日ト制限スルガ如キ、八千万
圓ノ豫算ガ今日ハ十三億二千万圓ニ上ツテ居ル、八千万圓ノ時代ハ豫算審查ノ期間
ガ二十一日デ適當ト思フモ、今日ハ更ニ此期間ヲ延長スルト云フヤウナ必要ト云フモ
ノヲ政府ハ認メテ居ルカ居ラヌカ、又議員ニ對スル待遇、又議員ノ懲罰規定、其他昨
日ノ議會ノ模様ヲ今日ノ新聞見ルト云フコト、議員ノ一人タル柏原友太郎君カラシテ、
甲議院ニ提出シタル議案ガ乙議院ニ移リ委員ニ付託セラレタルトキハ、其發議者タル議
員ハ乙議院ノ委員會ニ出席シ提案ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得ト云フヤウナ點ニ付テ發
議ガアッタコト云フコトヲ、新聞デ今日拜見シタルデアリマス、是等ノコトモ至極私ハ尤モ
ナル動議ノヤウニ考ヘマス、政府委員ハ貴族院衆議院ドチニデモ行ッテ勝手ニ自分ノ
提案ノ辯明ガ出來ル、議員ノ方ハ——何モ議決權ニ觸レルノデアリマセヌ、自分ノ出
シタ案ノ趣意ヲ徹底スル爲ニ、衆議院議員ガ貴族院ノ委員會ニ行ッテ辯明スルト云フ
コトハ、兩院ノ意思ヲ疏通スル上ニ於テ、大衝突ガアツテ協議會ノ場合バカリデハナイ、

不斷ノ議案ニ付テ貴族院ノ議員ガ衆議院ニ來ッテ提案ノ趣旨ヲ辯明シ、衆議院議員
ガ貴族院ニ行ッテ提案ノ趣旨ヲ述ベルト云フコトハ、非常ニ結構ノコトデアラウト思フ、
斯ウ云フ點ニ付テ政府ハ一體ドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、守衛長ノ如キ微々タル事柄ニ
付テ樞密院ノ議マデ經テ提案セラレタ以上ハ、斯ウ云フ時勢ノ必要ニ應ズルイロ／＼ナ
改良ト云フコトニ付テ、政府ハ如何ナル審議ヲセラレタノデアリマス、是等ノ點ニ就テ詳
細ナル政府ノ意見ヲ質シタイノデアリマス

○米田實君 唯今高木君カラ質問ガアッタ中、柏原君カラ修正案ガ出タト云フコトデ
アリマス、成程議院法ノ五十四條ハ柏原君カラ修正案ガ出マシタ、併ナガラ此案ハ撤
回ヲナサレマシタガ爲ニ、私ハ報告ヲシナカッタデアリマス、ソレダケ加ヘテ置キマス

〔政府委員法學博士高橋作衛君登壇〕
○政府委員（法學博士高橋作衛君） 高木君ノ御尋ノ趣意ハ、守衛長ヲ委任トスル
ト云フコトニ關シテ、議院法ノ或條項ニ修正ヲ加ヘルト云フ其法案ノ討論ノ際ニ、外ノ
問題ノ研究ガ委員會ニアツタカト云フコトカラ始リマシテ、而シテ議院法ノ中ニハ他ニ修
正ヲ要スル點ガ澤山アル、例ヘバ唯今仰セラレタ第五十四條ノコトデアルトカ、或ハ豫算
ノ審查期間ノコトニ改正ヲ要スルコト云フヤウナコトニ付テ、政府ハ如何ナル研究ヲ爲
シタカト云フ斯ウ御尋デゴザイマス（高木益太郎君「議員ノ待遇懲罰」ト呼フ）澤山改
正ヲ要スベキモノガ、議院法制定以來隨分歲月ヲ經過シテ居ルカラデアラウ、ソレヲ
審查シタカト云フ斯ウ御尋デゴザイマス、此處ニ提出致シテアリマス所ノ案ハ、此
勅令デ以テナシタル範圍ニ於テ、守衛長ヲ委任ニスル、斯ウ云フ案デアリマス、其委任
ニスルト云フコトノ結果、議院法第十七條ノ二項ガアノ儘デハ誤解ヲ起スカラ、止ムヲ
得ズラレタコトニ手ヲ著ケルト斯ウ云フコトデアリマス、其外ニ高木君ノ仰セラレタ如ク改正
スベキ點ガ澤山アルノデゴザイマセウケレドモ、政府ガ本案ヲ出シタノハ其處ニ著目シテ居
ルノデアリマセヌ、問題ノ範圍ガ自ラ異ナレテ居ルノデアリマス、唯今仰セラレタ事ニ付テ
ハ、政府ハ研究シナイノデアリマセウケレドモ、併シスノ如キ憲法附屬ノ法律トシテ重要
ナルコトヲ法律ヲ改正スルト云フ問題ハ、慎重ニ又慎重ニ政府ニ於テモ審查スベキモ
ノト思フノデアリマスカラ、目下ソレハ研究ハシテ居リマセウケレドモ、今日提案デアリマ
ス、所ノ事柄ハ、唯今申シマシタ通り、勅令デ動カシ得ルト云フモノヲ勅令デ動カシテ
勅令デ動カシテ見タ所其儘議院法第十七條三項ヲ置イテハ誤解ヲ生ズルト云フコト
デ、問題ノ範圍ヲ其處ニ極メテ提出シテアルノデアリマスカラ、唯今仰セラレタ所ノ諸件
ニ付テハ、研究ハ致シテ居リマセウケレドモ、今日ソレヲ是ト一緒ニ提案シテ議院法ヲ改正
シヤウト云フ意見ガアルノデアリマセヌ

○高木益太郎君 本員ノ肝要ナ問ニ對シテハ避ケラレテ、唯研究シテ居ルト云フコトデ
甚ダ遺憾デアリマス、此法律ハサウ屢ニ手ヲ著ケベキモノデアリマス、其條文ニ
付テ手ヲ著ケタ以上ハ、此條文全部ニ付テ審議ヲスルト云フノハ當リ前デアラウト思ヒ
マス、政府ハ答辯ヲ避ケテ居ルノハ甚ダ遺憾デアリマス、ソレニ付テ御尋シテ置キ
タイノハ、ドウ云フ譯デ書記官長カラ守衛長ニ至ルマデ議院ノ自治ニ任スコトガ出來ナ
イカ、帝國議會以外ノ府縣會ナリ町村會ハ、總テ其會ノ自治ニ委シテ居ルノデアリマス
ガ、然ルニ帝國議會ハ立法部デアリニ拘ハラズ、行政官ノ發スル官制ハ勅令ニ依テ、帝
國議會ノ職員ハ任命ヒラル、主義ヲ採ルノデアリ、今日ハ世界各國孰レノ議院ニ於テモ、
議院ノ職員ハ議院自ラ任命シテ居ル、然ルニ日本ノ議院ノ自治ノ精神ヲ貫カヌヤウ
ナ御提案ニナツタノハ、ドウ云フ趣意デアルカト云フコトヲ御尋シテ置キタイ

（政府委員法學博士高橋作衛君登壇）
○政府委員（法學博士高橋作衛君） 唯今モ申上ゲタ通り、問題ノ範圍ヲ初メカラ

極メテヤツタノデゴザイマシテ、ソレ以外ニ改正スベキ點ガアルト云フヤウナコトヲ高木君ガ仰シヤツタ、ソレマデハ否認ハ致シマセヌガ、提案ガ守衛長ヲ奏任ニスルト云フコトニ付テハ問題アリマス、デアリマスカラシテ他ノ問題ガアルト云フコトハ、少シモ否認モ何モシテ居リマセヌ、併シ出シマシタ所ノ問題ニ付テハ議院法ニ付テ改メネバナラヌト云フ據ロナイ點ケテ、唯今手ヲ著ケルト斯ウ云フ話デアリマス、ソレカラシテ外國ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、成程外國デハ書記官長書記官ノ如キ、ヤハリ議院ノ「オーソリチー」ヲ重シシテ議員カラ選出シテ居ル處ハソレハアリマス、併ナガラ列國皆其通リデアルト云フコトハ私ノ研究ノ範圍デハ承認ガ出來ヌヤウニ思フテ居リマスガ、併シソレハ問題外、免二角ソレモ一ツノ研究問題デアラウト思ヒマス、併ナガラ議院法制定ノ時ニハ自ラ各國ノ例ヲ調ベテ、現行法ヲ餘程適當ナモノト斯ウ考ヘテ規定サレタモノデアリマスカラ、今日ノ私ノ研究シマシタ範圍ニ於テハ、其點ニ於テハ寧ロ改メヌ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、尙研究中デアリマス

○議長(島田三郎君) 少數意見が出テ居リマス、其報告ヲ求メマス、三士忠造君

(三士忠造君登壇)

○三士忠造君 諸君、此議院法改正案ハ案自體ハ極メテ微々タル問題デアリマシテ、此演壇ニ於テ本員ガ少數意見ヲ述ベナレバナラヌト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フノデゴザイマス、少數意見ノ趣旨ハ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通りデアリマスカラ、之ヲ反覆致シマセヌ、先達ノ本會議ニ本席ニ於キマシテ本員ハ政府委員ニ疑問ノ點ヲ御尋フ致シマシタ所ガ、政府委員ハ一切ノ答辯ヲ避ケテ、委員會ニ於テ之ヲ述バルト云フコトデアリマシタ、委員會ニ於キマシテ吾々ノ納得ノ出來ルヤウ御説明ガアルカト思フテ豫期シテ居リマシタコトヲ、唯今政府委員ガ丁度此席ニ御出デニナリマシタ如ク、澤山書類ヲ御持チニナツテ參リマシタケレドモ、其書類ハ其儘持ッテ御歸リニナリマシタ、其書類ノ中カラ何モ出ナカッタデアリマス、而シテ政府委員ノ説明及與黨諸君ノ御討論ノ趣旨ハ、唯今委員長ノ御報告デ大體盡キテ居ルト思ヒマス、即チ唯今諸君ノ御聽キノ通り誠ニ支離滅裂ノモノデアリマシタ、アレハ私共誠ニ贊成ハ出來ヌデアリマス、先般本議場ニ於キマシテ申述ベマシタ通り、私共ノ見解ハ政府案ノ如キ改正ニ依リマシタハ、奏任官ノ守衛長ナル者ガ此ニ生レテ來ナイト云フ議論デアリマス、素ヨリ守衛長ヲ奏任官ニスルト云フコトニ付キマシタハ、私共一致ノ意見デアルト云フコトハ再ヒ申スマデモナイコトデアリマス、唯形式ニ付キマシテ立法部トシテ笑ハレヌダケノコトヲ致シタイト云フノガ私共ノ希望デアリマス、政府委員モ度々委員會ニ於テ御述ベニナリマシタガ、議院法ト云フモノハ憲法附屬ノ法律デアルガ故ニ、之ヲ尊重シテ置カネバナラヌ、是亦私共同論デアリマス、故ニ私共ハ此議院法ト云フモノヲ尊重シテ置カネバナラヌ、是亦私共正ニ付キマシタハ、餘程慎重ニ考慮ヲ費サネバナラヌト云フノデアリマス、從ッテ守衛長一人ヲ增加スルガ如キ小問題デアリマスケレドモ、立法論ト致シマシタハ、餘程鄭重ニ扱ハナレバナラヌト云フノデゴザイマス、政府委員及與黨諸君ノ議論ニ依リマス、唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ如ク、此議院法ニ規定シテアル所ノ書記官長及書記官ト云フ者ハ、議院ノ事務局ヲ構成スルニ必要缺クベカラザルモノデアツテ、其以外ノ者ハ勅令ニ議決モ宜シノデアアル、衆議院ニ若クハ貴族院ニ置クベキ所ノ總テノ職員ヲ、此處ニ規定シテアルノデナクシテ、此處ニハ必要止ムベカラザルトコロノ機關ケテ規定シテアルノデアツテ、其外ハ勅令ニ議決モ宜シノデアルト云フ議論デアリマシタ、私共ハサウ見ナイノデアリマス、議院法ハ憲法附屬ノ法律デアリマシテ、會計検査院法或ハ行政裁判所法等ノ如キ此ニ必要ナルトコロノ機關ハ、此議院法ニ總テ規定シテアルト云フデアリマス、即チ書記官長書記官ハ此ニ名前ヲ現ハシテ置キマス、其外ハ判任官デアツ

テ、第十七條ノ末項ニ持ッテ行ッテ、書記官長ノ任命權ノ中ニ議決アルノデアリマス、即チ衆議院事務局、貴族院事務局ニ於ケルトコロノ必要ナル職員ノ種類ト云フモノハ、此議院法ガ總テ規定シテアルノデアリマス、唯其細目ニ付キマシテ、補助規則シテ事務局官制ガ出來テ居ルノデアリマス、種類モ總テ此ニ規定シテアルノデアリマス、即チ奏任官以上ノ者ハ法律ヲ以テ規定シ、判任官以下ハ此ニ規定セズシテ唯其書記官長ニ任命權ヲ讓ルト云フコトヲ規定シテ居ル、而シテ此補助規則ヲ以テ其種類及職員數ヲ極メテアルノデアリマス、故ニ此處ニ守衛長ト云フ奏任官一人増スト云フナラバ、ドウシテモ此處ニ持ッテ來テ規定シナレバナラヌ、議院法ニソレヲ規定セズシテ唯勅令ニ依ッテソレヲ増スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、若シ政府ノ見解ノ如ク致シマスルト、斯ノ如キ改正案ヲ出サナクテモ出來ルカモ知レヌ、是マデノ現行法ノ儘ニ致シマスルト、書記官ノ外他ニ必要ナル職員ハ、書記官長之ヲ任命スト書イデアリマスカラ、書記官長ガ任命スル職員ハ判任官以下デアルト云フコトハ、此處ニ必ズシモ規定スルコトヲ俟タヌノデアリマス、他ノ行政各部ノ官制カラ見マシテモ、任命委任ノ原則通則カラ見マシテモ、書記官長ガ任命スルノ判任官以下デアルト云フコトハ、更ニ此ニ規定ヲ要セヌノデアリマス、故ニ此ニ政府案ノ如ク改正ヲ致シマシタ、數文字ヲ加ヘルト致シマシテモ、何等新事實ハ生シテ來ナイノデアリマス、全ク蛇足デアリマス、政府委員ハ飽迄モ此議院法ニ規定シタコトヲ、書記官長書記官ト云フモノハ重要ナルモノデアツテ、其外ハ勅令ニ議決モ宜シト云フ御議論デアリマスガ、而シテ尙ソレニ附加ヘマシテ書記官長及書記官ハ其外ハ普通通ノ任用令ニ依ルモノデアラ、ソレカラ是カラ設ケテ行カウト云フ守衛長ト云、或ハ其外ニ設ケルカモ知レヌガ、ソレハ特別任用デアラカラ必要モノデアナイ、又職責ニ於テモ違フモノデアナイ、是ハ勅令ニ議決モ宜シノデアリマスケレドモ、文官任用令ノ關係ハハルキ別物デアリマス、文官任用令ニ於テ文官高等試験ヲ經タル一般ノ任用令ニ依ルモノト、特別任用令ニ依ルモノト者トノ間ニ、必ズシモ職責ニ於テ輕重ノ別ハナイト云フデアリマス、唯其任用セラル、地位其モノ、輕重ハアリマスケレドモ、任用ガ本令デアラカ特別任用令デアラカニ依ッテ、其間ノ輕重ハ付カヌト云フデアリマス、若シ政府委員ノ説明スルトコロニ依レバ、唯今ノ參政官副參政官ナルモノハ、是ハ特別任用デアラカラ、有ッテモ無クテモ宜イ官職デアラ、而シテ他ノ諸官省ニ於ケル書記官若クハ參事官ト云フモノハ、特別任用デアラカ本令ニ依ルモノデアリマスカラ、參政官及副參政官ヨリハ餘程重イモノデアラ、斯ウ云フコトニナルデアリマセヌガ、此議院法ニ規定シテアルトコロノ書記官長及書記官ハ重要ナルモノデアラ、其外ニ奏任官ヲ設ケテモソレハ重要モノデアナイ、或ハ特別任用ト特別任用ニアラザルモノ、區別ト云フモノハ、是ハ窮餘ノ説明デアツテ、決シテ本案ニ對スル説明ヲスルモノデアナイト私ハ思フノデアリマス、若シ此官制ノ全部ヲ勅令ニ讓ルトカ、或ハ書記官長書記官ガ重要ナルモノト見テ、其外ハ附屬機關デアラカラシテ、勅令ニ讓ルト致シマシタ、之ヲ勅令ニ讓ルト云フ一箇條ヲ加ヘナレバ、之ヲ其處ニ持ッテ來テ、奏任ノ職員ト云フモノハ出テ來ナイト云フデアリマス、私共ハ斯ノ如キ問題デアリマスカラシテ、而シテ其目的ハ吾々モ共ニ一致シテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ全院一致ヲ以テ本案ノ通過ヲ計リタイト思ヒマス、私共ハ唯立法上ノ形式サヘ備ハレバ大抵一致點ヲ見出シテ通過ヲ計ラウト思ヒマシタ、段々考慮モ致シテ見マシタケレドモ、ドウシテモ政府與黨ノ諸君及政府ノ方ニ於テハ、此不條理ナル改正案ヲ飽迄モ一貫シテ動かカス、其間ニイロ／＼事情ハアリマセウケレドモ、其事情ハ此處デ申ス必要ハアリマセヌガ、ドウシテモ一貫シテ動かカス故ニ、私共ハ已ムヲ得ズ少數意見ヲ出シタ次第デアリマスガ、寔ニ小ナル問題デアリマスケレドモ、議院ノ體面ニ關スル衆議院ノ見識ニ關スル問題デアリマスガ故ニ、私共ニ遺憾ナカラ、是ハ爭ハサルヲ得ナイノデアリマ

ス、而シテ私ハ委員會ニ於ケル與黨諸君ノ態度及本案ニ對スル與黨諸君ヨリ段々私共ノ耳ニ入リマシタトコロノ御話ヲ綜合シテ見マスト、如何ニモ諸君ガ議院ノ一面目トカ、或ハ法律上ノ正義正論ト云フモノニ重テ措カズ、情實ニ重テ措クト云フ傾向ガアリハセカト思フノアリマス、一體私ハ明治四十一年以來議員ニナリ居リマスガ、今日ノ與黨諸君ノ如キ御用振リテ遺憾ナク發揮シテ居ル時代ハナト思フノアリマス、私共ノ與黨アツタ時代ハ屢アリマシタガ、斯ノ如キ不條理ナル案ガ假ニ出タト致シマシテモ、私共與黨アツタナラバ必ズ之ヲ匡正セシメマス、吾ハ議案其モノガ出ル其前ニ、政府ニ向テ與黨ノ意見ヲ呈シマシタ、而シテ吾ハ意見ヲ貫徹致シマシタガ、幸ニシテ吾ハ助ケテ居ル政府ノ時分ニハ、斯ノ如キ失態ハ無カッタノアリマス、與黨諸君及少數アル諸君ハ、斯ノ如キ改正案ヲ以テ衆議院法ノ精神ニ抵觸セズ、而シテ是ガケデ以テ新ニ委任官ノ守衛長ガ生シテ居ルモノト云フ解釋ガ取レマスガ、若シ是レガ取レルト考ヘラバ、私ハ實ニ諸君ノ理性ヲ疑ハザルヲ得ナイノアリマス、先般來委員會ニ於テ委員ノ諸君悉クガ私共ト同意見デアッタト思フ、現ニ其委員ノ一人ハ申シマセヌガ、或人ノ如キハ全ク君ト同意見デアルト言明セラレタ人ガアルノアリマス、然ルニ其人ガ委員會ニ於テハ何時ノ間ニヤラ變テ居ル、其理窟ヲ新ニ發見シテ變テタカト云フトサウデハナイ、其起立スル時分ノ有様ヲ見マスト云フト、仕方ガナイカラ起テ、自ラ仕方ガナイト云フ居タノアリマス、固ヨリ政府與黨アリマスカラ政府ヲ助ケシケレバナラヌケドモ、斯ノ如キ問題ハ決シテ政策ノ問題デモ何デモナイ、僅カ守衛長一人ヲ委任シタルト云フコトハ、而シテ其目的ニ於テハ全然一致アル、故ニ成ベク斯ウ云フコトハ全然一致ヲ以テ貴族院ニ廻シ、貴族院ニ於テモ全然一致ヲ以テ通過シテ貰ヒ、而シテ其結果ヲ樞密院ニ於テモ容ラレテ、圓滿ニ之ヲラタイト思フノアリマス、斯ノ如キ微々タル問題ニモ政府與黨ノ忠勤振リテ發揮シテ、而シテ條理ヲ無視シ議院ノ體面ヲ無視シテ、マルキリ情實ニ依テ決議スルト云フコトハ、私共議員トシテ甚ダ遺憾ニ存スルノアリマス、私共ガ新ニ議員ニナリマシタ頃ニ、動モスルト云フト理窟ニ五リマシテ、政界ノ事情其内外ノ形勢等ヲ鑑ミシテ、唯自分等ノ議論ヲ一點張リニ突張ラウト云フ傾キガアリマシタ、得テ此新議員ト云フモノハサウ云フ傾キガアルノアリマスガ、今度ノ新議員諸君ハ其反對ニ、何モ彼モ情實ガ政治ノヤウニ心得テ、自分ノ主張ヲ何時ノ間ニヤラ曲ゲルト云フ人ガ澤山アルヤウニ私ハ思フノアリマス、斯ノ如キ問題ニ付キマシテハ、ドウカ私ハ冷靜ニ條理ニ訴ヘテ、無理ヲシナイヤウニ、殊ニ議院法ノ如キ憲法附屬ノ法律デアリマスカラシテ、何處ヘ持ッテ行ッテモ耻カシクナイヤウナ改正ヲシタイト思フノアリマス、幸ニシテ其目的ハ一致シタノデアリマスカラ、諸君ハ枉ゲテ、情實ヲ以テ枉ゲルノデナク、今度ハ義務テ枉ゲテ、理窟テ枉ゲテ、私共少數ノ意見ニ贊成セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○福田又一君 本案ニ對シテ二讀會ヲ開クコト、直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ求メマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ハアリマセヌカ
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 直ニ二讀會ヲ開キマス
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 直ニ二讀會ヲ開キマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 少數者ノ意見ハ一ノ修正說デアリマス、之ニ對シテ定規ノ贊成ガアリマスレバ議題ト致シマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 定規ノ贊成ガアルト認メマス、之ヲ議題ト致シマス、通告ガアリマス——織田了君
〔拍手起ル〕

○織田了君 昨今三士君ノ言ハレル新議員デアリマス、ウレ故ニ是カラ正義公論ヲ以テマシテ、修正案ニ反對ヲシヤウト思ヒマス、三士君ノ修正意見ニ依リマスルト、兩院議院ニ設クベキ職員ノ總テト云フモノハ、議院法ニ規定ガシテアツテ、全部網羅シテアルト云フ御議論デアリマス、果シテ是ガ至當ナ解釋デアラウカト言ヒマスルト、決シテサウデハナト私ハ思フ、議院法ノ十六條ニ於キマシテ書記官長書記官ト云フノ規定ハアリマス、又十七條ニ於キマシテ書記官長ハ「書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス」ト斯ウアル、此規定デ以テ全部網羅サスルト云フコトガ言ヒ得ラレカドウカ、斯ウ云フコトニナリマスガ、私ハ此十六條ニ書記官長書記官ト云フモノヲ規定シタノハ、是ハ重要ナル機關ヲ規定シタマデアツテ、其他ノ職員ハ即チ官制ニ讓ッテアルノデ、即チ事務局官制ニ見マシテ、ヤハリ其他ノ職員ガ規定シテアル、即チ守衛長、屬官、守衛番長、斯ノ如ク規定シテアル、斯ウ兩方ノ規定ヲ俟チマシテ、初メテ議院ノ職員ト云フモノガ完備シテ居ルノデアル、サウ致シマスレバ、サウ致シマスレバ必ズ此ニ守衛長ナル委任ヲ設クルニ方リマシテ、是非トモ之ヲ議院法ニ設ケナハナラヌト云フ理由ガ何處カラ出テ來ヤウカ、此ニ於テハ其必要ノ理由ト云フモノハ未ダ反對者カラモ聞イタコトハナイノデアリマス、デツマリ此委任デアラカラ書記官ト同等ニ規定スベキモノデアラウ、ソレガ宜カラウト斯ウ云フ問題ニナルノデアリマスガ、私ハ此重要ナル書記官ト守衛長ノ如キデスナ、左程重要ニ非ザル所ノ機關トハ同一ニ置クベキモノデナイ、何故ト云ヒマスレバデスナ、今度守衛長ヲシテ委任官ノ地位ニ高メルト云フコトハハシマス、而シテ其守衛長ノ職務ト云フモノハ依然トシテ變更シナイ、元ノ通りノ職務デアリマス、而シテ其關係ガアルカラウレ故ニ是ハ書記官ト同等ニセネバナラヌト、斯ウ云フ議論デアリマスガ、此反對ノ議論ト云フモノハ私ハ取ルニ足ラヌト思フ、人事ニ關係スルト云フコトハ、先般總理大臣ニ向テ肉薄シタヤウナ如キ場合ヲ想像サレカト思ヒマスガ、斯ノ如キハデスナ、寧ろ議院トシテ之ヲ必要ナリト云フコトノ感覺ヲ持チマシテ地位ヲ高メルト云フコトハ私ハ最も議院トシテ之ヲ必要ナリト云フコトノ感覺ヲ持チマシテ地位ヲ高メ較シマスルト、私ハ速記者ノ如キデスナ、最モ此言論ノ府ニ於キマシテ必要ナル速記ヲスル、其等ノ起ル事實ヲ見マス場合ニハ、最モ此速記者ノ方ガ重要ナルコトニナル、ヨリ以上ノ重要デアラウト思フ、然ラバ又將來ニ於キマシテモ之ヲ委任官ニスルト云フ場合モナキニモ非ズ、而シテ見マスレバ此議院法ヲ折々、屢、又改正スルト云フコトニナリマス、デスノ如キハ甚ダ宜シクナイ、元來此議院法ノ十六條ニデスナ、書記官長ハ勅任トシ、書記官ハ委任官ト云フ規定ガアル、本來是ハ官制ニ規定スベキモノデ、議院法ニ規定スルノ所ニ宜シクナイ、適當ナラヌト私ハ信ジマス、デ其既ニ規定サレタルノニモ拘ラズ、尙ホ此ノ所ノ守衛長ヲ又加ヘルト云フコトハ益、其立法上適當ナラザルノミナラズ、尙體裁モ甚ダ宜クナイ、デ是ヨリ比ベマスレバ政府案ノ如ク之ヲ官制ニ讓リマシテ——官制ニ讓ッテサウシテ守衛長ヲ委任ニスルト云フコトノ爲ニ、此十七條ノ規定ヲ簡單ニデスナ、簡單ニ改正スルノガ最も適當デアルト斯ウ信ズルノデアリマス、デ大體三士君ガ兩院ノ職員ハ總テ議院法ノ規定ニシテアル、斯ウ云フ前提ガ私ハ間違ッテ居ルト思フ、ウレカラシテ守衛長ハ議院法ニ現ハサネバナラヌカト云フ私ハ其根據ヲ見出サヌ、單ニ委任官ト云フマ

デハ規定ガアルカラ、之ニ列ニ並ベヤウト云フニ過ギナイノア、必シモ奏任官ヲ議院法ニ載スヨリハ、是ハ官制ニ載スベキ性質ノモノデアラカラ官制ニ載セテ宜シ、又此立法部ニ於ケル職員ハ丁度裁判所ノ判事、或ハ會計検査院若シクハ行政裁判所ノ如ク法律ニ規定スベキモノデアル、斯ウ云フ御議論ヲ引用ニナリマス、是ハ又違ッテ御議論デ、憲法ニ依リマスレバデスナ、憲法ニ依リマスレバ五十九條ニ於テ裁判所ノ構成並ニ職員、是ハ法律ニ規定メルトコトニナッテ居リマス、又會計検査院ノ組織職權ニ付キマシテモ七十二條ニ規定ガアル、行政裁判所ノ如キニ付キマシテモ憲法六十條ニ規定ガアル、斯ク法律ニ規定ノアル以外ノモノハデスナ、法律ニ於テ規定スベキモノデアナイト云フコトハ明カデアル、サウシテ見マスレバデスナ、此衆議院——此議院ノ職員ハドノ部ニ當ルカ斯ウ云フコトニナリマス、憲法ノ十條ノ但書ニ依リマシテ、此議院法ト云フモノハ生ジタモノデアアル、憲法十條ノ但書ニ依リマスレバ「此憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノハ各、其條項ニ依ル」此憲法ニ掲ゲタル——憲法ニ掲ゲタルノハ唯今申上ゲマシタ所ノ職員、ツレカラ此法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノト云フノハ、即チ此議院法ニ掲ゲタル所ノ書記官長若シクハ書記官ノコトヲ指シタモノデアル、サウシマスレバデスナ、サウスレバ此以外ニデス、法律ヲ以テ定メルト云フモノハナイノデアル、然レバ此官制ニ定メル所ノモノハ、即チ第十條ノ本文ニ依ッテモデアルト私ハ思フ、デ從ッテデスナ、若シ之ヲデスナ修正説ノ如ク致シマスルト、却テ憲法ノ十條ノ本文ニ違反シ、憲法違反デアルト云フ結論ヲ生ズルト思フ、ツレカラシテ今又議院ノ職員ハ、議院ガ任命スベキモノデアアル斯ウ云フ御説モアリマスガ、議院ノ職員ヲ議院ガ任命スルト云フコトハ、外國ニ於テハイザ知ラス此日本ノ憲法ニ於テハ決シテ出來ナイコトダト私ハ思フ、憲法ノ十條ハ「天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス」ト云フコトデアル、此衆議院ノ職員ハ、純然タル行政官デアル、ツレ故ニ之ヲ官制ニ規定スベキハ、是ハ通則デアルデアル、此通則デアル中カラ議院法ニ依リマシテ、書記官長書記官ト云フモノヲ除外シタト云フニ止マルノデアリマスカラシテ、之ヲ以チマシテデスナ、之ヲ以チマシテ修正案反對ヲ表スル所以デアリマス、デ是ハデスナ、是ハ勿論政黨問題デモ何デモナイ單純法律問題デアリマスカラ、餘リ其三十君ノヤウナ御議論ニ賛成サレナイヤウニ私ハ希望ヲ表シマス

○議長(島田三郎君) 松田源治君

(松田源治君登壇)

(拍手起ル)

○松田源治君 本問題ハ憲法附屬法ノ議院法ノ改正ニ係ルデアリマス、餘程事大ナル議案デアリマス、而シテ政府ノ今回改正サレントスル所ノ規定ハデス、今マデノ議院法ノ立法例ニ變更ヲ加ヘントスル立法デアリマスカラ、餘程此問題ハ重大ナコトト考ヘルノデアリマスカラ、本員ハ之ヲ一言セザルヲ得ヌデアリマス、御承知ノ通り行政各部ノ官制ヲ定メルコトハ、天皇ノ大權デアリマシテ、是ハ私ノ申スマデモナイデアリマス、憲法第十條ニモ之ヲ規定シテアリマス、而シテ憲法第十條ノ但書ニ「但シ此ノ憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノハ各、其ノ條項ニ依ル」即チ、天皇ノ大權トシテ勅令ヲ以テ官制ヲ規定スベキモノデアルガ、其例外トシテ第一憲法ニ特例ヲ定メタル場合、第二法律ノ定メタル場合ハ法律ニ依レ、其規定ニ依ルト云フコトハ明カナッテ居ルノデアリマス、此規定ニ依リマシテ憲法ヲ見マスルト、憲法ノ第五十七條ニハ「裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」裁判所ノ構成ハ勅令ヲ以テ規定ハ出來ナイ、即チ法律ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトガ規定シテアリマス、是ガ特別ノ「ツデアリマス、又憲法六十

一條ニ依リマシテ行政裁判所ハ法律ヲ以テ定メルト云フコトガ憲法ニ規定シテアリマス、是ガ憲法ニ關スル特例ノ第二デアリマス、第三ハ憲法七十二條デアリマス、ツレハ「會計検査院ノ組織及職權ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」ト書イデアリマス、是ガ此憲法ニ規定シタル所ノ特例ノ第二デアリマス、議院法ハ如何デアルカト申シマスレバ、憲法第十條ノ法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノデアリマス、即チ憲法五十一條ニ依リマスレバ「兩議院ハ此ノ憲法及議院法ニ掲グルモノ、外」ト云ッテ、議院法ヲ憲法ハ認メテ居ルノデアリマスカラシテ、此法律ニ特例ヲ掲ゲタル所ノ一デアリマシテ、議院法ニ於テ法律ニ依ッテ總テノ職員ヲ定メナケレバナラヌデアリマス、即チ原則トシテ普通ノ裁判所、行政裁判所、會計検査院及此議院ト云フモノハ、議院ノ職員ノ總テヲ法律ヲ以テ規定スルコトヲ原則トスルコトハ、今私ノ朗讀シタル所ノ憲法ノ明文ニ於テ明ナルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ議院法ノ第十六條第十七條ニ依リマスレバ、總テ此中ニ規定シテアリマス、即チ書記官長書記官、是ハ十六條ニ規定シタル、而シテ其次ハ十七條ノ末項ニ「書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス」、即チ必要ナル職員ト云フ中ニ入ッテ居ルノデアル、此職員ハ若シ官制ノ補充規定ガナケレバ書記官長ガ名ヲ附ケテ宜イノデアアル、書記官長ガ細則ヲ定メテ守衛トシテモ宜シケレバシナクテモ宜シ、守衛長トシテモ宜イ、他ノ名ヲ附ケテモ宜シイノデアアル、是ハ明治二十三年議院ノ出來ヌ前、開ケナイ前、書記官長ガ任命ニナラナイ前ニ、衆議院事務局官制ト云フモノガ勅令デ發布サレタノデアリマスカラ、書記官長ハ其名ヲ附ケルコトガ出來ナカッタノデアアル、即チ末項ニ依ッテ、書記官長ト書記官以外ノ職員ハ其名ヲ官制ニ於テ補充シタノデアアル、決シテ法律ニ依ッテ定メヨト云フ所ノ原則ヲ破ツタモノデアナイト云フコトヲ私ハ斷言致スデアリマスサウ致シマスレバ此議院法ノ守衛長ヲ今度奏任ニスルト云フコトデアリマスカラ、奏任ニスルト云フコトハ、其人ヲ奏任ニスルトハナイ、守衛長ト云フ官職ヲ奏任ニスルトデアリマス、多年ノ功勞ガアルカラ今ノ守衛長ヲ奏任ニスルト云フノデアリ、是ハ念ノ爲ニ政府ニ尋ネマシタコトガ、政府ハヤハリ人ニ依ッテハナイ、官ガ重職デアラカラ其官職ナル守衛長ヲ奏任ニスルトデアルト云フコトヲ答ヘタ以上ハ、此議院法ノ今マデノ立法例ニ依リマスレバ、奏任ナルモノハ非常ナ主要ナル役人ト致シテ居リマシテ、其官名ト官等ガ定メデアリマス、即チ十六條ニ書記官長ガ一名書記官數名ヲ置クトシテ、書記官長ハ勅任トシ書記官ハ奏任トスルト云フコトガ書イデアラカラ、奏任ノ守衛長ヲ置クナラバ、此立法例ニ則ッテ、即チ議院ノ職員ヲ法律ヲ以テ規定スルト云フコトヲ原則トスルト云フ主義ニ則ッテ、守衛長一人ヲ置ク、守衛長ハ奏任デアルト云フコトヲ規定シナケレバ、奏任ノ守衛長ハ生レ出デナイモノデアルト云フコトハ明カデアル、決シテ之ニ反對スルコトハ出來ナイモノト考ヘルノデアリマス、且ツ政府ノヤウニ十七條ノ末項ヲ改正シテ、必要ナル職員中判任以下ハドウスルト云フコトハ、單ニ此事ヲ詳シク規定スルニ過ギナイ、今マデト同シ事デアル、論ジ詰メレバヤハリ書記官長ハ書記官以下ノ必要ナル職員ハ任命ノ原則ニ依ッテ之ヲ任用スルコトハ當然デアル、之ニ唯蛇足ヲ加ヘタニ過ギナイノデアアル、政府ノヤウナ原案デハ、如何ニシテモ議院ノ守衛長ノ主要ナルコトハ人ニアラス、官ノ主要ナル守衛長ト云フ奏任ノ役人ハ今ノ立法方法デハ決シテ出ナイト云フコトヲ私ハ斷定シテモ差支ナイと思ヒマス、是ガ第一ノ理由、第二ノ理由ハ今少シ主要ナル理由デアル、議院ニ隸屬シテ居ルコロノ議院事務局デアリマス、是ハ廣義ノ意味ニ於テ言ヒマスレバ行政部デアリマス、行政裁判所モ行政部デアリマス、會計検査院モ行政部デアリマス、天

ケレドモ、内閣ニ隸屬シテハ居ナイ、衆議院事務局ノ官制ニ致シマシテモ、議長ガ指揮シテ立法部ニ隸屬シテ居ルコロノ行政官ヲ以テ組織シテ居ルノデアリマスカラ、此重要ナル立法部ニ屬シテ居ルコロノ衆議院事務局ノ職員ハ、奏任ニスル判任ニスルト云フコトヲ決定スル時分ニハ、議院ノ意思ヲ尊重シナケレバナラヌ、行政權ヲ以テ干涉シテ行政權ヲ專ラ委シテサウシテ議院ノ意思ハ顧ミナイ、議院ノ協賛權ハ其範圍ヲ縮小シテ之ヲ無視スルト云フコトハ、議院ノ面目ニ關スル重大ナル事ト私ハ斷定スルノデアリマス、諸君、私ハ先程高木君ガ申シタウニ、ヤハリ是ハ議院ノ事務局ト云フモノハ獨立ヲ致シテ、指揮權ノミヲ議長ガ有ツテ居ル、身分ニ關スルコトハ内閣總理大臣ガ有ツテ居ル、政府ヲ有ツテ居ル、ウレデ書記官長書記官ハ非常ニ迷フノデアル、議長ニ忠實ナラムカ、立法部ニ忠實ナラムカ行政官ニ忠實ナルコトガ出來ナイト云フノデ、今日マデイロノ弊害ガ生ジテ居ル、是高木君ノ言フガ如ク理想トシテハ改正スルコトが必要デアルトハ思フ、議長ガ書記官長以下ノ職員ヲ任命スルコトノ權ヲ有ツコトガ出來ナケレバ、議長カラ上奏シテ、天皇之ヲ任命スルコト云フコトニシテ差支ナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、是ハ總テノ法規ヲ餘程改正シナケレバナラヌカラ、理想トシテハ贊成デアルガ、直ニ此法文ニ現スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、是マデ進歩シナケレバナラヌ、是マデ進歩シナケレバ議院ノ事務局ト云フモノハ獨立スルコトハ出來ナイ、獨立スルコトガ出來ナイカラ種々弊害ガ今日マデ生ジテ居ルノデアル、身分モ議長ガ掌リ任免黜陟モ議長ガ掌リ、指揮權モ今日ノ通り議長ガ掌リ、指揮權モアレハ身分ノ任免黜陟ノ權モ議長ガ有ツテ、奏任以上ハ議長ノ上奏ニ依テ極メ、判任官以下ハ議長ガ極メルト云フコトニナツテ、初メテ衆議院事務局ノ獨立ト云フモノガ全ク取レルモノデアラウト思フノデアリマス、然レ今日改正スル政府ノ爲ストコロニ依リマスレバ、今日爲シタル守衛長ヲ明日ヨリ朝令暮改ト云フノデアリマセウガ、此政府ハ朝令暮改ノコトガ多イガ、明日直ニ之ヲ判任ニスルコトモ出來ル、又守衛長ヨリ外ノモノヲ拵ヘテ、外ノモノヲ奏任ニスルコトモ出來ル、行政部ガ絕對ノ權利ヲ有ツテ立法院ハ之ニ參與スルコトガ出來ヌ、政府ノ專權ヲ以テ判任官ヲ奏任官ニシ、奏任官ヲ判任官ニスルト云フコトハ、議院自ラ政府ヨリ侮辱サレタルモノト云フテ差支ナイト思フ、斯ウ云フ重要ナルコトガ含マレテ居ル、之ニドウシテ與黨ハ贊成スルノデアル、即チ議院ノ面目ハ缺ケテ議院ノ立法權ヲ縮小スルノデアリマセウガ、即チ奏任官ニスルト云フコトハ議院自ラ協賛シナケレバ、今日マデ衆議院貴族院ニ奏任官ヲ拵ヘルコトガ出來ナイ、此權利ヲ自ラ拋棄シテ行政權ヲ以テ干涉サシテ行政權ヲ排斥スルノガ衆議院ノ努ムルトコロデアルカ、行政權ヲシテ今日以後益々衆議院ノ事務局ニ干涉サセテ立法院ノ範圍ヲ縮小スルト云フコトハ、議院ノ權利、議院ノ面目ニ於テ本員斷シテ贊成スルコトハ出來ナイノデアリマス、此二ツノ理由ニ依リマシテ、吾々ノ同僚ノ三士君カラ提出致シマシタコロノ少數意見ニ贊成致シマスガ、與黨ノ諸君モ此問題ハ憲法、議院法デアツテ、政黨ニ超越シテ居ル問題デアリマスカラ、議院ノ面目ヲ尊ビ、議院ノ立法權ヲ擴張シ、又議院ノ事務局ニ政府ノ干涉權ヲ入ラセナイト云フ爲ニハ、滿場一致ヲ以テ吾々ノ修正說ニ贊成セラレムコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(島田三郎君) 横山金太郎君

(横山金太郎君登壇)

○横山金太郎君 唯今松田君ノ申サレマシタ如ク、私ハ單リ憲法問題ト言ハズ、總テノ法理問題ハ何時デモ感情ト黨派トニ超越シタ問題デアルト信ジテ居リマス、(無論「ト呼フ者アリ」)此事ハ議院ノ守衛長ガ判任デアルノヲ陸シテ、奏任ニスルト云フコト

ヨリ改正ノ必要ガ起ツタノデアリマス、即チ之ヲ奏任ニスルト云フコトニ付キマシテハ、是マデ此演壇ニ御立チニナリマシタ議員諸君ノ御説ヲ聽イテ見テモ、委員會ノ經過ニ徴シマシテモ、未ダ會々異論ガナイノデ、堅苦シク言ヒマスレバ上下共ニ熱望ヲ致シテ居ルコロノ問題デアツテ、大キク言ヘバ國論ト云フテモ差支ナイノデアル(「ウシナ重大問題ニ非ズ」ト呼フ者アリ)又強メテ言ヘバ國論既ニ是ガ改正ノ必要ヲ認メテ居ル燭頭焦眉ノ急ニ追ッテ居ルト申シテモ妨ゲナイノデアル、素ヨリ凡ソ立法ニ體裁ヲ重シナケレバナラヌト云フコトハ、吾々モ同感デアリマス、殊ニ此三士君ガ御提出ニナリマシタ修正案ハ、此體裁ノ點ニ重キヲ置カレテアルノデアリマスカラ、一應道理アルモノ、如ク見ラレルノデアリマス、併シ此立法事業ヲ企テルト云フ場合ニハ、少クとも其主眼目ノ含シテ居ルノデアツテ、徒ニ形式ヲ顧ミルト云フコトニ急ニシテ、目的タル事業ヲ顧ミナカッタラハ、到底之ヲ遂行スルコトハ出來ナイ、ウレ故ニ吾々ハ形式即チ體裁ニ屈シテ精神即チ目的ヲ伸ブルト云フ考ヲ以テ、政府案ニ與スルニ至ツタノデアリマス(其爲ニハ手段ヲ擇バナイノカ「ト呼フ者アリ」笑聲起ル)是カラ申上ゲマス、三士君ハ論ヲ結バル、ニ當ツテ在野黨ノ議員以外ノ人ハ甚ダ腑甲斐ガナイ、情實ノタメニ云爲左右スルコトニ至ツテハ怪シカラヌ話デアルト云フヤウナコトヲ御出シニナリマシタガ、私ガ是カラ申上ゲマスコトハ恐ラク三士君ノ御叱リヲ蒙ルコトデアラウト思ヒマス、幸ヒ其説ヲ述ベテシマフテ然レ後其批評ヲ下シテ貴ヒタイ開ク所ニ依リマスレバ三士君ノ御出シニナリマシタ修正案ニ酷似シタ案ハ、曩ニ此議院ヲ通過シテ衆議院ニ移送サレタト云フコトデアリマス、貴族院ノ委員會ノ形勢其他間違ヒマシタ、貴族院ニ移送サレタト云フコトデアリマス、貴族院ノ委員會ノ形勢其他ニ徴シマス、恐ラク今回ノ此修正案ヲ貴族院ニ廻シマシタラバ、否決ノ運命ニ接スベキコトハ鏡ニ懸ケテ見ルヨリ明カナツテ居ルト云フコトデアル(「ノー」ドコカラ知ツタ「ト呼フ者アリ」)是ガ即チ三士君ガ如何ニモ貴族院ノ色眼鏡ヲ見テ、然レ後進退去就ヲ決スルト云フ議員ハ甚ダ宜シクナイ、斯ウ云フコトヲ仰シタルノデアリマスガ、私ハ之ニ對シテ一言辯解致シテ見タイ思フノデアリマス(「聽ク必要ナシ」餘計ナコトヲ言フナ「ト呼フ者アリ」)苟モ守衛長ノ判任デアルノヲ陸シテ奏任ニスルト云フコトガ、必要ニシテ且相當デアルト云フ事柄ガ認メラレタル以上ハ、一日モ速ニ之ヲ實現セシムルコトガ當然デアツテ、吾々員ニ立法院ニ具ハル者ノ職責デアルト考ヘルノデアリマス(「ウレヤヤルニ正當ナル方法ニ依ッテヤラナケレバナラヌ」ト呼フ者アリ)徒ニ此面目論ニ聽イテ體裁論ヲ固持致スト云フコトニナリマスレバ、其必要ナル事柄ヲ遂行スルコト云フコトガ出來ナクナル(「議院法ガ重イカ面目論ガ重イカ」ト呼フ者アリ)御持チナサシ、面目ニ拘ハルカ拘ハラナイカハ是カラ出ル(「ウシナコトガ面目ニ拘ハルカ」ト呼フ者アリ)此面目論ノ見地ヨリ考ヘテモ、決シテ退讓屈辱デハナイ、議院法ニハ協議會ノ規定ガアルコトハ御承知デアリマセウ、一タビ甲ノ議院ガ可決シテ乙ノ議院ニ廻ハシタ場合ニハ、之ニ修正ヲ加ヘテ送付致シタ時分ニハ、一體議院ハ如何ナル態度ヲ執ルノデアリマスカ、多クノ場合ニ於テハ院議尊重スベシトシテ、其乙議院ノ院議ヲ排斥シタコトモアルノデアリマセウケレドモ、場合ニ依レバ其議ニ應ジテ所謂妥協ナルモノガ行ハレタルト云フ事柄ハ幾ラモアルノデアリマス、現ニ……(笑聲起ル)

○議長(島田三郎君) 靜肅ニ

○横山金太郎君 吾々ガ此民事訴訟法ノ修正案ヲ提ゲテ議場ニ立チマシタ時ニ、一タビ上告ヲ致シテ破棄ニナツタ場合ニハ、差戻スベキ裁判所ノコトニ就テ度々其案ヲ出シマシタガ、イッモ貴族院ノ沮ム所ニ依テ終ニ目的ヲ遂ゲナカッタコトガアル、此場合ニ於テ貴族院ノ意嚮ヲ確メ政府ノ同意ヲ得テ、或ル點ニマテ修正ヲ加ヘテ、辛ウシテ兩院ノ通過

ニ力メタコトガアルノデアル是ガ本統ニ議員ト致シテスベキ態度デアルト考ル、イツ迄モ此玉トナッテ碎クルモ瓦トナッテ全キヲ耻ヅルト云フ如キコトハ、イツデモ行フベキ所作デナイ(此時演説者ノ口調ヲ真似ル者アリ笑聲起ル)

○議長(島田三郎君) ドナタデス、戯レノ言葉ヲ發シテ居ルノハ(笑聲起ル)

○横山金太郎君 唯名義論勝テ、死スベキ秋ニ死ナカタナラバ死ニ優レ辱ガアルト云ツテ早ク死シマツテハ、決シテ幾多ノ機會ヲ作ルコトモ出來ナケレバ、其機會ハイツデモ敗者ノ地位ニ立タナケレバナラヌ、即チ此問題ニ就テモ恰モ甲議院ノ多數ガ乙議院ノ或ル意ヲ察知シテ、是ナラバ成程吾々満腔ノ熱誠ヲ以テ希望ヲ致シテ居ル所ノ案ノ通過ガ出來テ、此改正ニ依テ企テラレテ居ル所ノ或ル事業ノ完成ガ求メラレルト云フ場合ニ於テ、此態度ニ出ルト云フコトハ、寧ろ議員トシテハ先見ノ明アリト誇ルコトハ當リ前デゴザイセヌカ、何モ或人ノ言ハレル如ク衆議院ハ衆議院トシテハ權威ヲ保持ナケレバナラヌ、此ノ如キハ甚ダ不見識ノ議リガアルト云フ如キコトニ至ラデハ、斷シテ私ハ與ミスルコトガ出來ヌデアリマス、殊ニ此憲法ニ御精通ニナリマシタ松田君ヨリ憲法ヲ翳シテ御議論ニナリマシタ、其點ニ付テ吾々即チ此改正案ニ贊成スル理由ノ主タルモノヲチヨツト申上ゲテ置キタイ、松田君ノ仰シタルハ憲法ノ十條ノ規定ニハ行政各部ノ官制ハ(松田源治君)ツナナ事ハ言ハヌ今日ハ「ト呼フ」専ラ勅令ヲ以テ定メルコトガ出來ルケレドモ、其他ノ部分ニ至ラデハ少クモ法律ニ特例ガナケレバナラヌ、喩ヘテ見レバ裁判所構成法ノ如キ、會計検査院法ノ如キ、行政裁判所法ノ如キ皆是デアル、衆議院ノ如キモノ一立法部ト致シテ獨立ラシテ居ル以上ハ、決シテ此勅令ト云フ如キ行政命令ヲ以テ云爲スベキモノデナイ、併シ此點ニ付テハ議院法ノ十七條ノ三項ニ規定ガアルカラ、此規定ト相俟テ衆議院ノ事務局官制ト云フモノガ實際ニ於テ活躍スルコトニナルデアアル、斯様ノ御趣意ニ私ハ聽取ツタデアル、若シ果シテコレデゴザイマシタナラバ、今回ノ改正モ亦此趣旨ニ則ツテ、其改正ノ事業ガ企テラレタルト云フコトヲ斷言スルニ憚ラヌデアリマス、即チ此十六條ニハ書記官長ト書記官ガ置クコトガ定メテアツテ、其他ノ規定ハ十七條ノ三項ノ規定ノ勸ニ依ツテ始メテ出テ來ルデアアル、事務局官制ニハ如何ナルコトガ書イタルカト見マスルト、書記官長、書記官、屬、速記技手、守衛長、守衛番長、是ダケノ職員カ定メタルデアリマス、此屬以下ノ人ミト云フモノハ即チ總テ官制ニ依ツテ極メラレタルデアリマスカラ、此官制ヲ改廢ラスルト云フコトハ、必シモ議院ノ協賛ヲ得ナケレバ改正ガ出來ナイト云フ譯デハナイデアアル、守衛長ヲ判任トスルト云フ規定ヲ、今回假ニ政府ガ奏任ニスルト云フ規定ニ變ヘマスニ當ツテモ、是ハ即チ勅令ノ勸ニ依ツテ改廢スルコトガ出來ルデアツテ、斷シテ是レ自體ガ議院法ニ影響ヲ及スモノデナイデアリマス、此ノ如クニシテ奏任官ノ守衛長ガ出來マシタ結果ガ——結果ガ議院法ノ十七條ノ三項ニ依リマスルト、恰モ此書記官長ニ於テ奏任官デアアル守衛長ヲ任命スルノ權限ガアルモノ、如ク總メラル、嫌ガアル、コレ故ニ此條文ヲ改正ラ致シテ、判任以下ノ職員ト云フコトニ此文字ヲ入ル、ト云フニ過ギナイデアリマス、即チ此判任以下ト云フ文字ヲ入レマス同時ニ、十六條、十七條、竝ニ事務局官制ヲ照合サセテ見テ、成程是ハヤハリ此書記官ト書記官長ト云フモノハ議院法ニ定メラレテアツテ、從來ヨリ官制ニ讓テアル守衛長ト云フモノガ、今度始メテ奏任ニナツタガ此奏任ニナツタコトハ、既ニ或高等官官等俸給令ト云フモノデアリマシテ、此高等官官等俸給令ノ規定ニ依ルト、奏任官任命ノ方法ト云フモノガ一般的ニ定メラレタルデアリマスカラ、是ニ依テ政府ガ任命スレバ事ハ足リルデアツテ、政府ノ事業トシテ唯々十七條ノ三項ニ於テ、恰モ書記官長ガ奏任官ヲ任命スルト云フ觀ヲ備ヘテ居ル、此條文ノ

撤去ヲ圖レバワレ宜シデアリマス、即チ此意味ニ於テ今回ノ改正ト云フモノガ企テラレタルデアリマスカラ、松田君ノ仰シタル所ハ一應御尤ノ如クアリマスケレドモ、苟モデスナ、官制ニ於テ守衛長ト云フモノガ始メテ出テ來テ、此守衛長ヲ奏任ニスルトカ判任ニスルトカ云フコトハ、必ズシモ議院法ニ於テ豫メ制限ガ加ヘラレタルモノトハ斷シテ見ラレナイデアリマスカラ、コレ故ニ此官制ヲ改正ラスルト云フコトハ、政府ノ私ハ自由デアルト考ヘテ居ル、要スルニ約メテ申シマスルト、此ノ如クニ改正ラ致シテ置キマス、寧ろ此將來ニ於テ何方デアリマシタカ、或奏任官ヲ掙ヘルコトガ云々ト云フヤウナ言葉ガアリマシタガ、勿論是モ議院法ノ十七條ニ於テ書記官長並書記官以外ノ必要ナル職員ハ、此議院法ガ認メテ居ルト云フコトニ前提ガ定メラレテアレバ、幾人殖ヤシマセウガ減ジラセウガコレハ勝手デアリマス、若シ果シテ是ガ此ニ劃然タル區別ヲ置イテ、此改正ヲシナケレバナラヌト云フデゴザイマスレバ、高木君ノ仰シヤツタ如ク、此議院法ト云フモノヲ鉅削リニシテシマツテ、鉅削リニシテ、サウシテ總テ此立法部ト云フモノハ獨立シナケレバナラヌカラ、此官制ノ規定ヲ止メルト云フ其意味ニ於ケル改正案ヲ、此處ニ出シテ參リマセヌケレバ、斷シテ主義方針ニ於テ私ハ一貫ヲシナイと思フ、斯様ナ譯柄デアリマスカラ、松田君ノ言ハレル所ヲ考ヘマス、成ルベクダケ法制ヲ統一スルト云フ意味ニ於テ、コナラノ方面ニ近寄ラシメタイト云フ御希望ハ御尤デアリマスケレドモ、其御議論ハ所謂體裁論ト相俟ツテ今日ノ場合ニ於テ形ノミヲ食ツテハ生キテ居ラヌ、ドウシテモ其精神ヲ取ラナケレバ吾々ノ企テ、居ル、否此議院全體ガ希望ヲ致シテ居ルトコロノ改正事業ノ遂行ガ出來ナイト云フ場合ニ到著致シテ居ルデアリマスカラ、多少此點ニ於テ犧牲ヲ拂ツテ——所謂松田君ノ議論ハ五十歩百歩デアリマスガ、犧牲ヲ拂ツテモヨリ多クノ改善ヲ施スト云フコトハ、國務ニ參與シテ居ル者ノ心得トシテ常ニ服膺スベキコト、信ズルデアリマス、是ダケヲ以テ贊成ノ理由ト致シマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 討論ハ終ツタト認メマス、依テ決ヲ採リマス、其方法ヲ簡略ニ申シマス、修正案即チ少數者ノ意見ヲ採決致シマス、是ガ成立チマスレバコレニ決シマス、若シ、成立チマセヌケレバ委員長報告ニ付テ決ヲ採リマス、修正說ニ同意ノ方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(島田三郎君) 少數デアリマス

〔大多數〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 修正說ハ否決シマシタ、委員長報告ニ……

〔異議アリ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 異議ガアリマス、異議ガアレバ定規ノ贊成ガアレバ決ヲ採リマス

〔贊成々々〕「無益々々」ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 異議ガアルニ付テ試ニ反對說ヲ採ツテ満足サレマス、然ラザレバ規則ニ依ツテ……

〔反對說採ルベシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 反對說ヲ採ツテ満足デアレバ反對說ヲ採リマス、宜シウゴザイマス

〔點呼々々〕「反對說ヲ採ルベシ」ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 氏名點呼ラシマス

○議長(島田三郎君) 反對說ヲ採ルベシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 議長ハ試ニ反對説ヲ採リマス、委員長報告ニ御同意ノ方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔多數〕又〔少數〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、委員長ノ報告ニ決シマシタ(拍手起ル)

○福田又一君 第三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長ノ報告通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナレト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ唯今ノ説ニ異議ハアリマセカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 然ラバ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマシタ、日程第四、砂糖消費稅法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告、柵瀨軍之佐君

第四 砂糖消費稅法中改正法律案 政府 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔柵瀨軍之佐君登壇〕

〔拍手起ル〕

○柵瀨軍之佐君 砂糖消費稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、本改正案ハ御承知ノ通り三箇ノ趣旨ヨリ成立シテ居リマス、第一ハ現行法ニ依リマスレバ外國ニ輸出スルコトノ砂糖ニ對シマシテモ、其色素相當ノ消費稅引當擔保ヲ取テ居タラバ輸入スルガ、是ハ從來ノ實態ニ依リマシテ最早其必要ヲ認メナイカラ、今後ハ此引當擔保ハ取ラナイト云フコトガ一ツデアリマス、第二ハ食用ニ供セザルトコロノ糖蜜、之ニ對シテハヤリ稅ヲ取ラナイ、現行法ニ依リマスレバ其用途ノ如何ヲ問ハズ、悉ク課稅ヲ致シテ參ッダデアリマスガ、今後ハ食用以外ニ應用セラレタル糖蜜ニ對シテハ稅ヲ取ラナイ、是ガ第二デアリマス、第三ハ一旦課稅濟ノ砂糖ヨリ精製致シタルトコロノ糖精ニ對シテハ稅ヲ取ラナイ、此三ツデアリマスノデ、委員會ハ慎重審議ヲ致サレマシテ大體ニ於テ政府ノ此提出サレマシタ改正案ハ、機宜ニ適シタルモノデアルト云フコトデアリマシタケレドモ、唯第五條ノ中ニ既ニ原則トシテ外國ニ輸出スルモノニ對シテハ稅ヲ取ラナイニ拘ラズ、六箇月以内ニ其輸出先ノ陸揚證明ヲ持テ來ナイモノニ對シテハヤリ稅ヲ取ル、内地消費稅同様に稅ヲ取ル、斯ウ云フコトノ規定ガアリスルノデ、本法制定ノ當時ハ砂糖ノ供給面ハ先ヅ遠クテ印度、大體東洋方面ダケニテ居リマシタガ、現今ハ販賣區域ガ極メテ擴大サレマシテ、南米各國、濠洲、荷印、印度、越ハマシテ遠ク大陸地方ニマデモ及バンタル狀況デアリマスルノデ、六箇月以内ニ陸揚證明ヲ取ルト云フコトハ少シ短キニ失スル、故ニ之ヲモット延長スルコトガ相當デハナイカト云フ御議論ガアリマシテ、政府モ其意見ヲ尤モデアルト諒トサレテ、而シテ政府委員ヨリ此希望主張ニ對シテ一ノ聲明ヲ致サレマシタ六箇月以内ニ陸揚證明ヲ提出シ能ハザル事情アリト認メタル場合ニ於テハ右陸揚證明ヲ提出セザルコトヲ得ト云フコトノ意味ニ、勅令即チ施行細則ヲ規定スルコトニ致スベシ、斯様ナ聲明デアリマシタガ、委員會ハ政府ノ其聲明ニ確信ヲ置キマシテ、暫ク其處置ニ一任スルト云フコトヲ以テ満足致シマシタ、ソレカラ可否ノ採決ヲ致ス前ニ於テ、委員長澤倉吉君ヨリ一ノ希望條件ガ提出ヲ致サレマシタ、其希望條件ハ砂糖消費稅ノ稅源ヲ侵害スルノ虞アル製品ニ對シテハ、相當

ノ課稅方法ニ付キ考慮セラレムコトヲ望ム、此希望條件ヲ提出セラレマスルト共ニ、長澤君ハ其理由トシテ斯様ナコトヲ陳述サレマシタ、今ヤ此飴ノ生産——各府縣ニ於ケル所ノ飴ノ生産高ハ、非常ナル勢ヲ以テ増加シテ居ル、現今豫想デハアリマスレドモ、想フニ一億万斤ニ近イモノデアラウト思フ、之ヲ百斤樽入ノモノニ換算ヲ致シマスルト、百万樽、斯様ニ此飴ノ生産ガ劇増ヲ致シテ參リ、今後尙此生産高ガ増加セムトスル傾向ニ對シテハ、即チ一面ニ於テ砂糖ノ消費區域ヲ侵害スルモノデアアル、モウ一ツ言ヒ換ヘマスルト、國家有要ノ財源デアアル所ノ稅源ヲ侵害スルノデアアル、故ニ此稅源ヲ涵養シ或ハ保護シ或ハ維持スル上ニ於テ斯様ナ製品ニ對シテハ、相當ノ課稅ヲ爲スト云フコトノ考慮ヲ政府ハ費スコトガ必要デアアル、斯様ナ意味デアリマシタ、ソレカラモウ一ツ山本條ニ即チ君ヨリ希望條件ガ提出致サレマシタ、ソレハ砂糖ノ消費稅引當擔保トシテ稅務署ニ提供致シ置ク所ノ此擔保ヲ、各稅務署ニ共通スルト云フコトヲシテ貫ヒタイト云フコトデアリマス、政府委員ハ總テ委員會ノ此主張意見ヲ尊重シテ、出來得ル限り其希望ニ副フベク努メルト云フコトデアリマシテ、其結果全會一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、御報告致シマス(拍手起ル)

○福田又一君 本案ニ對シマシテハ二讀會ヲ開クコト、シ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定アラムコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田又一君ノ説ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 然ラバ直ニ第二讀會ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 第二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎 第一讀會 君外一名提出)

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

○議長(島田三郎君) 委員長報告ノ通り可決確定シマシタ、日程第五、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、相島勘次郎君

第十九條ノ二 選舉人第八條第四號ニ該當スルトキハ選舉人名簿調製ノ期日滿一箇年前ニ其ノ證據ヲ具ヘテ其ノ住所ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲ササルトキハ選舉權ヲ有セス
別表中左ノ如ク改ム

東京府	東京府	京都府	京都府	大阪府	大阪府	堺市	神奈川縣	横濱市	横濱市	兵庫縣	神戶市	姫路市	長崎縣	長崎縣	佐世保市	對馬市	新潟縣	新潟縣	高岡市	高岡市	郡馬市	群馬縣	栃木縣	宇都宮市	三重縣	津市
伊豆七島トモ	十五人	八人	四人	五人	十人	七人	三人	五人	三人	十一人	十二人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人	十一人

宇治山田市	愛知縣	名古屋	靜岡縣	濱松市	岐阜縣	岐阜縣	長野縣	長野縣	松本市	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣	福井縣
一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人

若松市	大分市	熊本市	鹿兒島市	北海道人	小樽區	旭川區	札幌留萌、宗谷、上川空知、室蘭、浦河各支廳管内	函館、檜山、後志各支廳管内	根室、釧路、河西、網走各支廳管内	（根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡ヲ除ク）	那覇區	沖繩縣	那覇區	那覇區
十二人	六人	一人	九人	一人	一人	一人	六人	三人	一人		一人	一人	一人	一人

○相島勸次郎君 私ヨリ本案提出ノ理由ヲ説明致シマスル、此議案ハ今年初メテ出
タノデアリマセヌノデ、數回此議場ニ説明ヲ申上ゲルノデアリマスルガ、何時デモ此議案
ノ重大デアルニ拘ハラズ日程ニ上ル時分ニハ、必ズ其日ノ最後ノ案トシテ所謂打出シ案
ニ必ズ出タノデアリマスルガ、今回ニ限ッテ政府案ノ一讀會——委員長報告ノアル議案
ノ後ニ第一ニ上程サレタト云フコトハ、私ハ洵ニ從來ノ議長ニ類ノ無イヤリ方デアッテ、
此點ニ於キマシテハ私ハ現議長ガ如何ニ斯ウ云フ問題ニ就テ、御熱心且進歩サレタ御方
デアルカト云フコトヲ感謝モ致シマスルシ、又之ヲ諸君ノ前ニ聲明モシテ見タイト思フノデア
アリマスル、吾々共ハ毎度申シマスル通り、斯ウ云フ風ナ制限選舉法ノ議案ヲ出シマス
ケレドモ、吾々ノ理想ヲ申シマスレバ、吾々ハ普通選舉ノ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、吾々
ノ理想ハ普通選舉デアリマス、普通選舉ノ此學理的議論ニ付マシテハ、今私ガ説明ス
ル必要モアリマセヌケレドモ、要スルニ普通選舉ト云フモノニ依ラナケレバ、今日ノヤウナ
此階級政治ヲ打破スルコトハドウシテモ出來マセヌ、又普通選舉ニ於テ非常ニ澤山ニ
選舉權ヲ有スル者ガ出來タナラバ、今日ノヤウナ忌ハシイ所謂買收ト云フヤウナコトハ、

必らず行ハレルコトが出来ナクナルダラウト私ハ思ヒマスル、又政治思想ヲ周ク普及サセ
ルト云フコトハ、丁度吾ノ國民ガ所謂皆兵主義ニ依テ、如何ナル平民ノ子デモ必ス兵
ニ出テ生命ヲ國家ノ爲ニ捧ゲルト云フ此制度が出来タコトニ依テ、吾々ノ愛國心ガ遺
憾ナク發揮サレタル如ク、苟モ國ノ御厄介ニナツテ居ルトカ、或ハ法律規則ニ依テ、或
缺點ノアルモノデナイ丁年以上ノ男子ガ選舉權ヲ持ツト云フコトハ、必ス此政治的ニ於
テ吾々ノ愛國心ト云フモノヲ必ス遺憾ナク發揮セシムルトコロノ最良手段デアリマシテ、
此普通選舉ノ理法ニ依テ非常ニ澤山ノ人ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトデナケレバ、本
當ノ愛國心ノ發揮ト云フコトハ私ハ見ラレナイト思フデ居リマス、斯ウ云フ理由カラ致シ
マシテ、私共ハ普通選舉ヲ主張スルノデアリマスケレドモ、併ナガラ今直ニサウ云フコトヲ
申シマシテハ、必ズ贊成ヲ得ナイコトト思ヒマスカラシテ、私共ハ漸進主義ヲ執リマシ
テ、段々ニ改革ヲシテ行キタイト思フノデアリマス、元來此普通選舉ト云フコトハ二十七
議會、此時ニ衆議院ヲ通過シテ居ルノデアル、サウシテ之ヲ貴族院ニ持ツテ參リマス
ト云フト、當時ノ貴族院ニ於テ穩積ハ東先生デアリマシタラウト私ハ考ヘテ居ル、此人ガ非
常ニ此普通選舉ト云フコトヲ厭ガリマシテ、將來斯ノ如キ議案ト云フモノハ決シテ貴
族院ノ門戸ヲ入レテハナラヌト云フヤウナコトヲ論斷シタノデアリマシタ、是ニ於テ吾々ハ
第三十議會、此時分ニ此議案ヲ出シタ時分ニ、當時吾々ノ同黨員デアリマシタ今日ノ
司法省副參政官關和知君ガ、此壇ニ立チマシテ、溫厚ナル關和知君ガ其時ドウ云フ言
葉ヲ用井タカト云フト、關和知君ハ平素ニ於テハ溫厚ナル長者デアルケレドモ、此選舉權
付テ普通選舉ガ貴族院ニ於テ破ラレタト云フコトハ、所謂謹厚ナル者尙斯ノ如キカノ
慨ヲ以テ、關君ハ斯ウ云フコトヲ言ツデ居ル、一種ノ固陋ナル閥族政治家、官僚政治
家、而シテ曲學阿世ノ學者於テ云々ト云フコトヲ申シテ居ルノデアル、其外モツ激烈ナ
コトヲ申シテ、サウシテ普通選舉ガ貴族院ニ於テ拒絕サレタト云フコトヲ非常ニ憤慨サレタ
ノデアリマス、ツレカラ又一般ノ人も普通選舉ヲ非常ニ厭ガルノデアル、ナゼ之ヲ厭ガルカ
ト云フト、是ハ佛國革命ノ時分カラシテ、斯ウ云フ議論ガ湧イテ居ツタカラシテ、此普通
選舉ヲヤレバ必ス何カ危險思想デモ起ルカノヤウニ、大層之ヲ驚クノデアルケレドモ、今ノ
學者ハ普通選舉ト云フモノハ、危險思想ヲ防ゲ所ノ安全瓣デアルトシテ學者ハ認メテ
居ルノデアリマシテ、今日デハ少シモ危險ナコトモ何デモナイノデアリマス、此普通選舉
ト云フコトニ付テハ、誰デモ恐レテ居リマシテ、大隈伯ノヤウナ實ニ此大膽ニ物ヲ放言スル
所ノ方デモ、此ノ普通選舉ト云フコトダケハ大層驚イテ居ツテ、雜誌記者ナドガ訪ネテ
行クト云フト、選舉法ノ改正モ宜シイケレドモ、普通選舉ト云フコトダケハ説クナヨト云フ
コトヲ能ク演說シテ居ルト云フコトヲ吾々ガ聽イテ居ル、大隈伯ニシテ尙斯ノ如シ、況ン
ヤ此頑冥不靈ナル人達ガ、普通選舉ヲ厭ガルコトハ殆ド想像スルニ餘リアルノデアリマス
ル、併ナガラ普通選舉ト云フコトハサウ怖イモノデハナイ、所謂危險思想ノ安全瓣デアル
スマーグノヤウナ所謂鐵血宰相デアツタケレドモ、アノ人ハ死ヌマデモ選舉ト云フモノハ、
普通選舉デナケレバイカヌト云フコトヲ言ツデ居ツタノデアリマス、殊ニ普通選舉ガ怖ク
ナイト云フコトハ、日本ハ一院ノ國デハナイ上下兩院ガアル、貴族院ト云フモノガアリマ
シテ、衆議院ノ議論ガ直ニ國ノ法律トナツテ行ハレルノデハゴザイマセヌ、貴族院ト云フモ
ノガ一ツ此衆議院ニ對立ヲ致シテ、儼然トシテ立ツテ居ツテ、サウシテ衆議院ノ議論デモ
是ハ穩當デナイトカ、或ハ自分達ノ議論ニ合ハナイモノハ修正モスルシ、反對モスルノデ
アルカラ、決シテ此衆議院ノ議論ガ直ニ法律トナルノデハゴザイマセヌ、ツレ故ニ一方ニ於
テハ成ベク廣ク選舉權ヲ與ヘテ、サウシテ衆議院ト云フモノハ全ク民論ノ府ト致シテ置
イテモ少シモ差支ハナイ、若モ是ガ日本ノヤウデナク、貴族院ト云フモノノ權力ガ洵ニ強イ

トコロノ英國デアルトカ云フナラバ、普通選舉ハ非常ニ危險ナルカモ知レマセヌケレドモ、日本ノヤウニ貴族院モアリ又樞密院モアツテ、此國論ヲ矯正シテ行ク所ノ國ニ於テハ、決シテ普通選舉ハ怖イコトハナイデアリマス、現今日ニ於テモ還元問題、斯ウ云フコトニ付マシテハ此衆議院ト云フモノガ手モナク通過シテ居ルノデアルケレドモ、貴族院ニ於テハドウデアリマス、今ヤ内閣ハ此問題ノ爲ニ瓦解スルカモ知レナイト言ハレテ居ルデアリマセヌカ、サウ云フ風ニ貴族院ト云フモノガアリマシテ、民論ガ直ニ行ハル、コトガ出來ナイヤウニテ居ル國ニアツテハ、却テ選舉權ハ普通選舉ニシテ方ガ利益ガアルノデアアル、又選舉權ヲ持ッテ居ル人ガ非常ニ少ナイ爲ニ、イロ／＼ノコトガ起リ例シハ澤山ニアル、現ニ九龍市ノ如キハ人口ハ三万以上今日ハ無イノデアル、二万六千幾ノ外ナインノデアル、サウ云フ風ニ人口モ少ナイ選舉權モ少ナイカラシテ今回ノ議員買収デアルトカ、選舉干涉デアルトカ云フ、其根本ガ九龍市ノヤウナ處カラ胚胎シタコトハ何デアアルカト云ヘバ、是ハ選舉權ガ少ナイ爲ニ斯ウ云フコトガ出テ來タノデアリマス、若モ有權者ガ多數デアッタラバ、恐ラクハ斯ウ云フ忌ハシ憲政上ニ汚點ヲ打ツヤウナ問題ハ起ラナカッタト私ハ思ヒマス、サウ云フ關係カラシテ私共ハ普通選舉ヲ主張スル者デアリマス、其事ヲ私ハ此演壇ニ於テ斷言致シマスケレドモ、私共ノ今回出シタノハサウ云フ理論ヲ其儘ニ用井ヤウトスルノデアリマセヌ、漸進主義ヲ執ッテ居ル、唯年齡ヲ今日ノ年齡ヨリハ若クスル、或ハ財産ノ制限ヲ低下シテ今日ハ十圓トアルモノヲ直接國稅五圓ニ改メ、又智識階級ヲ加ヘルト云フコト、此三點ガ、私共ノ出シマシテ議案ノ主ナル點デアリマス、選舉權ヲ擴張スルト云フコトニ付テハ、イロ／＼ノ説ヲ爲ス者ガアリマスケレドモ、大隈伯ハ嘗テ或ル雜誌記者ニ談ッテ、斯ウ云フコトヲ仰シヤシテ居リマス、與ヘナクテナラヌモノハ何トシテモ與ヘナクテナラヌデアル、弊害ヲ除ク方法ナドハ其上デ講ズレバ澤山デアルト、斯ウ云フノデアル、與ヘナクテナラヌモノハ何トシテモ與ヘナクテナラヌデアルカシテ、與ヘルタケハ與ヘテ置イテ、サウシテ其處ニ弊害ガアルナラバ、弊害ハ後デアサウ云フ弊害ヲ防ク方法ヲ講ズレバソレデ宜シイデアツテ、サウ云フコトニ愚圖々々シテ居ッテハナラヌト仰シヤシテ居リマス、是ハ實ニ名論デアリマス、ソレデアルカラ伯ノ内閣ハ、内閣組織ニ當リマシテ政綱ニモ選舉權擴張、選舉界ノ廓清ト云フヤウナコトヲ宣言サレタノデゴザイマセウ、然ルニデス——然ルニ大隈伯ノ内閣ガ斯ウ云フコトヲ仰シヤシテ、ソレカラ斯ウ云フ政綱ヲ發表シタ所ノ大隈内閣ガ、今日ニ至ッテ選舉法ノ調査委員會ヲ開クト云フヤウナコトハ何デアルカ、調査モ何ニモ要ラナイ、與ヘルモノハ與ヘナクテナラヌト云フコトハ伯翁ガ常ニ言ッテ居ル言葉デアル、然ルニ今ニナツテ調査會ヲ開イテ、サウシテ其調査ノ結果ニ待ッテ擴張ヲスルナント云フコトハ何タルコトデアリマス、私ハ其無責任ヲ憤リ且ツ笑ハザラ得ナイデアリマス、諸君モ御存知ノ通り今日ハ何處ノ國ニ參リマシテモ、選舉權ヲ擴張スルトカシナイデアリマス、サウ云フ馬鹿ナコトハ議論シテ居ル國ハ一國モゴザリマセヌ、今日テハ普通選舉ノ結果ニ依テ、其結果ヲ如何ニ能ク收メルカ、民論ヲ如何ニ代表セシメルカト云フコトニ就テハ議論ハアリマスケレドモ、擴張シロトカシナイトカ云フ、サウ云フ時勢後レノ議論ヲシテ居ル國ハ一國モゴザリマセヌ、是ハ日本限リ獨特專賣デアリマス、私共ハサウ云フ後レ切ッタコトヲシテ居ル譯ニハ往キマセヌ、一日モ早く此擴張ヲ圖ラナケレバナラナイ、ソレカラ又毎度申スコトデアリマス、英國デハ百人ノ中デ十七人ナニガシノ議員ヲ出シテ居ル、佛蘭西デハ百人ニ付テ二十七人出シテ居ル、獨逸デハ百人ニ付テ二十二人以上出シテ居ル、日本ハドウデアルカ、百人ニ付テ二人ナニガシト云フ比例ニナツテ居ルノデアル、是レデハ代議政體ヲ布イテモ全ク唯階級ノ——或ル階級ノ人ノ政治デアツテ、是ハ日本ノ政治トハ殆ド言ハレナイ言ツテモ

宜イデアリマス、又私共ハ「間違ヒハセヌカ」「モウ一遍算盤ヲ取ッテ下サイ」ト呼フ者アリ又私共ハ十圓ノ制限ヲ五圓ニ下ゲヤウトスルノデアリマス、是ハ丁度十二議會ノ「簡單々々」ト呼フ者アリ「簡單ヲ希望スル方ハ聽カズニ議場ヲ出テ行ケバ宜イノデス、是ハ重大ナル議案デアリマス」「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ「決シテ唯一局部ノ利害、若クハ其時限リノ問題デハナイ」「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ「凡ソ立憲國トシテ是ダケ重大ナル問題ハアリマセヌ、今日國民ノ要求ハ何ガ一番切實デアルカト云ヘバ選舉權ノ要求デアル吾々ノ代表シテ居ルノデアリマス、此重大ナル議案ヲ議スルニ當ッテ簡單ニシロトカ何ト云フナラバ、サウ云フ方ハオトナシク此議場ヲ去ルコトガ宜シト私ハ思ヒマス、ソレカラ此五圓ニ下ゲタト云フコトニ就テハ伊藤内閣ノ時分ニモ、所謂十二議會ノ時分ニ出シタ時モ、地租ハ五圓、營業稅所得稅ハ三圓トナツテ居リマス、其後十二議會會十四議會ニ於テ山縣内閣ニ於テモ此現行法律ヲ出シタ時分ニモ五圓トナツテ居リタケレドモ、貴族院ノ反對ガアリマシタカラシテ、時ノ内閣ハ之ヲ容レテ十圓ニシタノデアリマシテ、此五圓說ト云フモノハ必ズシモ今私共ガ新ニ發明シタノデハナイ、長イ歴史ノアルモノデアリマス、此五圓ト云フコトニシタノデアリマス、ソレカラ私共ガ第一ニ主張スルノハ智識階級ヲ有權者ニ入レルト云フコトデアリマス、智識階級ニハ財産上ノ規定ナシト雖モ、選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテハ隨分議論ガゴザリマス、議論ガアリマシテモ私共ハ之ニ付テハ非常ナル熱心ヲ持ッテ居リマス、若シ今日此智識階級、所謂中等教育ヲ受ケタル人ニ選舉權ヲ與ヘテ、ソレデモ尙且此日本ノ代議政體ト云フモノハ今日ノ如ク腐敗シ、今日ノ如ク不進歩デアラナラバ、日本ハモウソレデハイケナイデアリマス、モウ日本ガ本統ニ發達スルカシナイカモ之ニ由ッテ極ルノデアリマス、若シ本統ニ健全ナル智識階級ノ人達ニ選舉權ヲ與ヘテ、ソレデモ——ソレデモ何デモ此選舉ト云フモノハ今日ノヤウニ腐敗シテ居ル、今日ノヤウニ買収ガ行ハレルト云フコトデアツテハ、モウ日本ノ國ハ何トカシナケレバナラヌデアリマス（拍手起ル）ソレ故ニ何ト云フ理窟ガアリマシテモ、此智識階級ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、之ヲシテ見ナケレバ本統ニ日本ノ國ト云フモノハ、駭タシテ發達スベキモノデアルカ、代議政體ト云フモノハ日本ノ國ニハ不適當ナルモノデアルカ、實ニ是レハサウ云フコトノ岐目デアツテ、重大ナル事デアリマス、私共ハドウシテモ此智識階級ヲ今日ノ有權者ノ中ニ加ヘタイノデアル、丁度ハ酒ガ腐レカカッテ居ル中ヘ「サルチル」酸ヲ打込マウトスルノデアリマシテ、「サルチル」酸ヲ打込マシテ、且酒ガ腐ルト云フコトデアレバモウドウシテモ仕方がナイ、飲ムコトガ出來ナイノデアリマスカ、私共ハ此「サルチル」酸ヲ打込ムト云フコトニ就テ熱心ヲ持ッモノデアリマス、此智識階級ニ選舉權ヲ與ヘテアツタナラバ、假令今回ノ如キ選舉干涉ガゴザリマシテモ、アノ前橋市ニ行レタト云フヤウナ有權者ノ數ヨリモ運動者ノ數ガ多カッタト云フヤウナ馬鹿ナ事ガ行レル譯ハナイノデアル、又金澤市ニ行レタルヤウニ規則ニハチヤント西ノ内「ホドム」ト明カニ書イテアルノニ、ソレガ裁判沙汰ニナツテ、サウシテアレハ類例ヲ示シタモノデアルト云フヤウナ馬鹿ナ裁判ガ起ル譯ハナイノデアル、斯ウ云フ風ニ吾々ガ聞クモ忌ハシキ法律ヲ曲解スルカ、實ニ此士君子トシテ爲スベカラサルヤウナコトガ往々ニシテ行レルト云フコトモ、是ハ智識階級ニ選舉權ガ分タレテ居ラナイカラシテ、日本ノ國論ガ本統ニ立派ニ映シテ來ナイノデアル、或ル特定ノ人ガ持ッテ居ル、サウシテソレ等ノ人ト云フモノハ、毎年々々ノ選舉ニ慣レテ居ッテ選舉ニ於テ腐敗スルト云フコトハ、少シモ彼等ハ何トモ思フデ居ラヌノデアル、然ルヲ今ノ選舉界ハドウデアルカト云フト、此民法上ノ隱居スルト云フコトハ非常ニムツカシクナツテ居ルヤウナ結果トシテ、實際家ノ身代ト云フモノハ若旦那ガシテ居ルノデアルケレドモ、此隱居ヲシナイ——隱居ヲシナイ爲ニ選舉ノ時ダケハ

此老人先生が出テ來ルノアル、此老人先生ハ新智識ガアルモノデアリマセヌ、又相續稅ノ關係ヲ子供ニ世ヲ渡セバ稅ヲ納メナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、若イ人ガ本統ニ實際ノ實務ハシテ居ルデアリマセケレドモ、其人ニ世ヲ渡サナイカラシテ、イツモ選舉ト云フ時分ニ必ズ歸サシガ出テ來テ選舉ヲスルト云フヤウナ結果トシテ、本統ノ選舉ガ行ハレナイデアゴザイマス、ウレカラ若イ智識アル人、智識ハ賤ヤトシテ進シテ居ルデアリマスガ、此智識アル人ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フト、其結果ハ實ニ恐ルベキモノガゴザイマス、ツマリ大隈伯ナドハ實ニ大言壯語ヲナサル政治家デアゴザイマスガ、此人ハ初メカラ選舉權ハ無イノアル、選舉權ガ無クテ、サウシテ政治ヲ長イ間ヤツタカラシナナ方ニナツタノアル、選舉權ハ無イ人デアツテ、智識ノアル程危險ナコトハアリマセヌ、ドウシテモ智識アル人ニ選舉權ヲ與ヘルヤウニシナケレバ、本統ノ政治ハ行ハレテ來ナイデアリマス、或ハ此大選舉區ハドウデアルトカ、小選舉區ガドウデアルトカ、或ハ投票取締ノ方法ガドウデアルトカ云フヤウナ議論モゴザイマスガ、併ナガラサウ云フコトハ後日ノ問題アル、先以テ一般ノ此位ノ程度ニマデ智識階級ヲ第一トシテ、直接國稅ナラハ五圓、年齢ナラハ今日ノ二十五歳ヲ二十歳、若イ人ニ權利ヲ與ヘテ誰モ彼モ此選舉權ヲ持チ、恰モ誰モ彼モ丁年ノ男子ガ國ノタメニ兵隊ニ出ルト云フヤウナコトニシタナラバ、必ズ此責任ヲ誰モ感ズルノアル、政治ハ或ル某ガヤツテ居テ、吾々國民ハ相關セズト云フ氣風ノアルノハ何ノタメカト云ヘバ、之ヲ今日最モ進歩シタル智識階級ニ向テ選舉權ヲ與ヘナイタメデアルト吾々ハ斷言スルデアリマス、ウレ故ニ此事大ケハドウシテモヤツテ見タイ、政府ガ唯今モ申ス通り或ハ調査ヲスルトカ何トカ言フケレドモ、イロ／＼ノ考ヲ持ツタ人ヲ集メテ調査シタコトデ、其調査ト云フモノハ丁度米價調節カ何カヤツテ居ルト同ジニ、小田原評定ヲスルニハ宜カラウケレドモ、本統ノ結果ハ得ラレモノデアゴザイマス、ウレ故ニ私ハ此内閣ガ當テ宣言シタコトモアリマス、又大隈伯ガ平素選舉權ノ擴張、選舉ノ廓清ニ付テ熱心ナル方デアリマス、セメテ此内閣ニ於テ是デケノ事デモナスツタナラ、或ハ今ヤ將ニ瓦解セントシタモ此ニ一ノ事業ガ殘ルデアリナカト親切ニ考ヘルデアリマス、サウ云フ結果カラ致シマシテ、私ハ私共ノ案ノ中テ惡イ所ガゴザイマシタナラバ、多少修正ヲナサルナリドウナリナサレマシテモ、先以テ此若イ智識階級ノ人ニ選舉權ヲ與ヘルト云フ大體ノ方針タケハ、諸君ノ御賛成ヲ得テ、是非此議會ニ於テ之ヲ通過シタイト熱心ニ考ヘテ居ルデアリマス、或ハ此問題ガ黨派ニ超越シテ居ルトコロノ問題ナルニ拘ラズ、私ノ熱心ノ餘リニ或ハ自然ツマラスコトヲ申シタカモ、知レマセヌ、併ナガラサウ云フコトハ諸君ハ決シテ之ヲ感情ニ捉ヘラル、ヤウナコトナシニ、此問題ハ眞面目ナ問題アル、憲政ヲ進歩サセル上ニ於テ重大ナル問題アルト云フコトニ、諸君ハ同論アルニ相違ナイノデアリマス、ドウゾ吾々ノ意ノ在所ヲ御酌取リニナリマシテ、平素ノ黨派感情ヲ斷然去ツテ、サウシテ吾々ノ意ノ在所ニ御賛成アラムコトヲ切ニ希望スルデアリマス

○福田又一君 本案ハ曩キニ小泉又次郎君ヨリ提出サレタ衆議院議員選舉法中改正法律案ト、同一ノ委員ニ付託サレテ審査サレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕フ聲起ル

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ小泉又次郎君提出ノ選舉法中改正法律案ト同委員ニ付託致シマス 日程第六、齒科醫師法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 提出者綾部惣兵衛君

第六 齒科醫師法中改正法律案(綾部惣兵衛君外七 第一讀會 名提出)

齒科醫師法中改正法律案

齒科醫師法中左ノ通改正ス

第一條 第一號中「齒科醫學學校」ヲ「齒科醫學專門學校」ニ改ム

同條ニ左ノ二號ヲ加フ

四 醫師ニシテ齒科醫師試驗規則第二條中齒科治術學、齒科技工學及實地試驗ニ合格シタル者

五 醫師ニシテ齒科科學講座ヲ有スル帝國大學醫學科大學又ハ文部大臣ノ指定シタル齒科醫學專門學校ニ於テ二箇年間齒科科學ヲ專攻シタル證明ヲ有スル者

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

醫師ニシテ齒科醫學中技工ニ屬スル行爲ヲ爲シタル者及ハ齒科專門ヲ標榜シタル者亦前項ニ同シ

附則 本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔綾部惣兵衛君登壇〕

○綾部惣兵衛君 提出者ノ一人ト致シマシテ、齒科醫師法中改正案提出ノ理由ヲ簡單ニ說明致シマス、本案ハ曩キニ二十五議會ニ於キマシテ、清水市太郎君及根本正君ヨリ御提出ニ相成リマシテ、一議會ヲ通過致シテ委員會ニ付議セラレマシテ、委員會ニ於テ可決致シタ問題デアリマス、當時議會ガ解散セラレマシタ爲ニ、不幸ニシテ其目的ヲ達スルコトヲ得ナカッタデアリマス、此度再ヒ根本君、清水君、其他ノ諸君ト再ヒ此議場ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、本案ノ要點ハ、齒科醫師法ノ第一條ヲ改正シヤウト云フノガ本案ノ趣意デアゴザイマス、齒科醫師法ノ第一條ハ齒科醫師ノ資格ヲ定メタ簡條デアリマシテ、第一條ニ齒科醫師トナルモノハ左ノ資格ヲ要ス云々ト云フコトガ規定シテアリマシテ、齒科醫師ニナリマスノハ文部大臣ノ認可シタルコロノ齒科醫學專門學校ヲ卒業シタル者、又齒科醫師試驗ニ及第シタル者、三ハ外國ノ齒科醫學學校ヲ卒業シタル者、若クハ齒科醫師ノ免許ヲ得タル者ニシテ、命令ニ背カザル者ニ齒科醫師ヲ許スト云フコトガ規定サレテ居ルデアリマス、此度提出致シマシタ改正案ハ、此外ニ四、五ノ二項ヲ加ヘタイノデアリマス、其二項ト申スノハ四ニ於キマシテハ、醫師ニシテ齒科醫師試驗規則第二條中齒科治術學、齒科技工學、及實地試驗ニ合格シタル者、五、醫師ニシテ齒科科學講座ヲ有スル帝國大學醫學科大學、又ハ文部大臣ノ指定シタル齒科醫學專門學校ニ於テ二箇年間齒科科學ヲ專攻シタル證明ヲ有スル者、此二箇條ヲ加ヘタイト云フノガ今回ノ改正案ノ趣意デアゴザイマス、其理由ハ齒科醫師ト云フ者ハ普通ノ醫師トハ餘程異ナツタ獨特ノ技術ヲ要スト云フコトガアルデアゴザイマス、故ニ政府ニ於キマシテモ當テ帝國醫學科大學ノ中ニ齒科學科ヲ置キ、又醫師ヲ養成スルガ爲メニ、專門學校ヲ設立サレマシタガ齒科醫師ニモ、特ニ齒科醫師專門學校ト云フモノヲ設立シテ、一般ノ醫師ト齒科醫師トハ其教育ヲ別々ニシテ居ルノミナラズ、齒科醫師ト醫師トハ開業ヲ致スニ付キマシテモ取締方法ガ別ニ立テ居ルデアリマス、醫師ノ方ニ於キマシテハ、醫師法ト云フモノニ依テ醫師ヲ支配シ、齒科醫師ノ方ニ於キマシテハ齒科醫師法ト云フモノニ依リマシテ齒科醫師ヲ支配致シテ、雙方ノ權利義務ヲ明カニ區別シテアルノデアリマス、併ナガラ此齒科醫師法ハ明治三十九年五月法律第八十四號ニ依

テ出來タル所ノ法律アリマシテ、當時マダ齒科醫師ノ幼稚ナル時代ニ於テ出來タル所ノ法律アリマス、故ニ此現行ノ齒科醫師法ニハ不完全ノ點ガアルノデアリマス、其不完全ノ點ト云フハ普通醫師ト齒科醫師トノ間ガハッキリ區別ガ付イテ居ラヌガ爲メニ、普通醫師ニシテ往々齒科醫師ヲ兼スル者ガ近來出來タルノデアリマス、近來普通醫師ハ免角齒科醫師ヲ輕視シテ居タノデアリマスガ、近時齒科醫師ガ段々發達スルト同時ニ、普通醫師ノ方ニ於テモ齒科醫師ヲ兼スル者ガ出來テ來タノデアリマス、承ル所ニ依ルト全國百七八十モアルト云フコトデアリマスガ、是等ノ人ハ然ラバ齒科ニ必要ナル所ノ治療學トカ、若クハ技術ニ關スル技術學ト云フモノヲ研究シタ人ニデアルカト云フト、全ク是等ニ付テハ研究ヲシタコトノ無イ人ガ、普通醫師デ齒科醫師ヲ兼テ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ衛生上ニ取テ危險千萬ナ事デアリマス、元來齒科醫師ト云フモノハ治療及技工ノ二ツガ齒科醫師獨得ノ科目デアリマシテ、例ヘバ治療トハ彼ノ充填ヲスル金銀、若クハ「セメント」ヲヤウナモノデ齒ヲ埋メルトカ、又ハ技工ノ方ニナリマス入齒ヲスルトカ、齒ノ折レタノヲ接グトカ、或ハ齒ニ金ヲ被セルトカ、若クハ齒竝ビノ惡ルイノヲ直ストカ、整ヘルト云フコトハ全ク學問以外ノ獨特ノ技術デアリマス、此技術ヲ研究シナイ者ガ齒科醫師ヲ兼タルト云フコトハ、衛生上甚ダ憂フベキ事デアリマスニ依テ、此區域ヲ判然ト致シタイト云フノガ此改正法ノ要旨デゴザイマス、但シ普通一般ノ醫師ニ齒科醫師ヲ許サナイト云フノデアリマス、一一般ノ醫師ガ齒科醫師ヲ兼テ、若クハ齒科醫師ヲ兼テ欲スルナラバ此齒科治療學及技工ノ二ツガ實地試驗ニ及第シタル者、若クハ大學ニ在ル所ノ齒科醫師ノ講座又ハ齒科醫師專門學校ニ於テ、二年間治療及技工ニ關スル事ヲ研究シタ證明書ヲ得タル者ニ許スト云フコトニ致シタノデアリマス、之ヲハ「キリ區域ヲ立テマセヌガ爲メ、一方ニ於テハ醫師會アリ一方ニ於テハ齒科醫師會ガアリマシテ、此齒科醫師會ト普通ノ醫師會トノ間ニ常ニ紛爭ヲ免レナイハ洵ニ遺憾トシテ、此改正案ハ各派ノ諸君ニ依テ提出セラレ、各派ノ諸君ノ多數ノ贊成ヲ得テ提出シタ案デアリマス、諸君ニ於キマシテモ願クハ政黨政派ニ關セズ、一致ノ御贊成アラントヲ希望致シマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託シ審査サレンコトヲ求メマス
(贊成「下呼フ者アリ」)
○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ福田又一君ノ説ノ通り、議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第七、社寺上地下辰ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス——提出者齋藤隆夫君

第七 社寺上地下辰ニ關スル法律案(齋藤隆夫君外四 第一讀會 名提出)

- 第一條 社寺上地下辰ニ關スル法律案
ハ其ノ社寺ニ下辰スヘシ
 - 第二條 本法ニ依ル下辰ノ申請ハ大正六年七月三十一日迄トス
 - 第三條 此ノ申請ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 - 第四條 第一條ニ依リ下辰ヲ受ケタル者ハ國ノ有スル權利義務ヲ承繼ス
 - 第五條 本法ニ依リ下辰ヲ受ケタル土地林野及其ノ立木竹ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ抵當權質權ノ設定若ハ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス
- 附則
本法ハ大正五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

(齋藤隆夫君登壇)

○齋藤隆夫君 諸君、本案ハ是マテ屢々此讀場ニ現ハレマシテ、其度毎ニ全會一致ヲ以テ通過致シマシタガ、未ダ貴族院ニ於テ審議決定セラレザル所ノ議案デアリマス、今回モ各派ノ有志諸君ト共ニ更ニ之ヲ提出シテ諸君ノ御贊成ヲ仰ギタイト思フノデアル、而シテ此議案ニ付キマシテハ、政府當局者ノ反省ヲ促シタイ事モアリマス、旁々多少ノ説明ヲ要シマス、暫クノ間御清聴ヲ煩シマス、本案ノ趣旨ハ第一條ニ明記シテアリマス如ク、今日社寺ノ境內ニ在ル土地ニシテ明治八年彼ノ土地處分ナルモノニ依テ政府ニ沒收セラレ、現ニ國有ニ屬シテ居リマスモノヲ舊トシテ主タル社寺ニ下辰スベシト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、今日我國ニ於キマシテハ七方有餘ノ寺院ガアリマス、又十三方有餘ノ神社ガアリマス、是等ノ社寺ノ全部トハ申シマセヌガ、其中ノ或部分ハ遠キ古ヨリ多少ノ土地ヲ所有シ、是ニ依テ其獨立ヲ維持シ併セテ其天職ヲ盡スガタメニ努メテ居タコトハ是ハ爭ナキ事實デアリマス、而シテ是等ノ社寺ガ其不動產ヲ獲得スルニ至リタル起源ヲ尋ネマシタナラバ、多クハ數百年長キハ一千年以上ノ歴史ヲ有シテ居ルノデアル、又是等ノ不動產ヲ得ルニ至リタル原因ヲ尋ネマシタナラバ、コレハ一様ニ非ラズシテ多樣デアリマス、或ハ時ノ君主將軍若クハ領主ヨリ下附セラレタルモノモアル、或ハ一人ヨリ寄附セラレタルモノモアリマス、或ハ又名僧ト云ヒ、高僧ト唱ヘラル、者ガ、自ラ進ンデ深山幽谷ヲ切開キ其處ニ殿堂ヲ設ケテ其地ノ所有ヲ公認セラレタルモノモアリマス、或ハ寺院自ラ代金ヲ拂フテ買得シタルモノモアリマス、其他種々ノ原因ハゴザイマスルガ、何レニスルモ當時法律若クハ習慣ガ認メタル正當ノ手段ヲ以テ、其所有權ヲ獲得シ永キ間之ヲ保持シ來タコトナル、然ルトコロ明治維新ノ際彼ノ亂服時代ニ於キマシテ、我國ヲ吹荒シタコロノ暴風ノタメニ捲込マレテ、是等ノ土地ハ全ク一掃セラレテシマツテ居ルノデアリマス、即チ時ノ政府——政府ト云フヨリハ時ノ内務省ノ中ニ於テ僅ニ一ツノ地位ヲ占メテ居リマシタコロノ地租改正局ナルモノガ、一片ノ訓令ヲ以テ是等ノ土地ハ悉ク沒收シ爾來今日ニ至ルマデ國有トナツテ政府ノ管理ニ屬シ、元ノ持主タル社寺ハ全ク權利ヲ喪失シテ居ルト云フノガ今日ノ有様デアリマス、本員等ノ見ルトコロニ依レバ、今日我が國ノ社寺、其社寺ノ大部分ハ頗ル窮乏シテ居ルノデアル、甚シキニ至テハ年ト共ニ衰亡ニ向ヒツ、アルモノモ決シテ少クハアリマセヌ、從テ我が國ノ宗教界殊ニ我が國固有ノ宗教界ハ萎靡トシテ振ハサルコトハ、諸君ノ知ラレル通りデアル、是ハ宗教道德ノタメ延テ國家社會ノタメニ喜ブベキコトデアアルカ、又憂フベキコトデアアルカ、是ハ此處ニ明言スルノ必要ヲ認メマセヌガ、何レニスルモ斯ル現象ヲ來シタル原因ハ何處ニアルカト云ヘバ、明治政府ガ一朝ニシテ彼等ノ財產ヲ奪ヒ、彼等ガ活動スル資源ヲ斷タルコトガ其原因中ノ最モ大ナルモノデアルト本員ハ確信致シテ居リマス、固ヨリ神社其モノ、中ニ安置セラレテ居ルモノハ、是ハ人間デアリマセヌ、人間ヲ超越シテ居ルトコロノ神佛デアリマス、併ナガラ是等ノ神佛ノ德ヲ傳ヘ教ヲ廣メルモノハ吾等同ジク人間デアアル、衣食住ヲ以テ生存條件トシテ居ルトコロノ人間デアリマス、然ルニ一方ニ於キマシテハ彼等ノ生存條件ヲ奪ヒ、彼等ヲシテ窮乏ニ落シテ置キナガラ、他ノ一方ニ於テハ彼等ニ活動ヲ求メ宗教道德ヲ振ハサルコトヲ攻メルト云フコトハ、是ハ人間トシテハ頗ル無理ナル注文デアリマス、況ヤ正當ノ原因ニ依テ之ヲ獲得シ永キ間之ヲ保持スル、殊ニ深キ歴史上ノ因縁ノアルトコロノ宗教上ノ所有物ヲバ、何等正當ノ理由ナクシテ之ヲ沒收シテ、今日ニ至ルマデ恬トシテ過去リタルガ如キハ、明治政府以來ノ大失態デアルト本員ハ確信シテ居リマス、尤モ明治三十二年ニ是等ノモノヲ救済スルガ爲メニ一ノ法律ガ發布ニナリマシタ、コレハ國有土地林野下辰法ナルモノデアリマス、若シ此法律ガ正當ニ運用セラレマシタナラバ、コレ等ノ土地ハ當然社寺ニ下辰

スベキ性質ノモノデアリマスガ、政府當局ハ確ニ此法律ノ運用ヲ誤ラデアルマス、ソレハ如何ナルコトデアルカト申シマスルコト云フト、政府ノ見解ニ依レバ社寺境内ノ土地ハ是ハ私有地ニアラズシテ公領地デアル、即チ大名ガ領地ニ對スル關係ト同一ノ性質ノモノデアラカラン、之ヲ沒收シタノハ當リ前デアル、各藩ニ對シテ藩籍奉還ヲ命ジタルト同一ノ性質ノ事柄デアラカラン、是ハ政府ニ沒收スベキモノニシテ、今更ニラバ還スベキモノデアイト云フ此理由ヲ以テ、社寺ノ請願ヲバ盡ク却下シテシマウタデアリマス、トコロガ是ガ抑々誤リノ大ナルモノデアリマス、古來我國ノ社寺ニハ境内内地ノ境外地ト二ツアリマス、此境外ニ屬スル方ハ全ク公領地ノ性質ヲ帶ビテ居リマシタカラシテ、是ハ明治二年太政官ノ布告ヲ以テ沒收セラレタデアル、トコロガ境内地ハ公領地デナイデアリマス、是ハ歴史上ノ事實ニ徴シ又法理ニ訴ヘテ本員ハ斯ク論結ラスベキ根據ヲ有シテ居ルデアリマス、而シテ此行政廳ニ於テ却下セラレマシタルトコロノ事件ガ行政裁判所ニ現ハレ、行政裁判所ハ如何ナル判決ヲシタカト云フト、初メノ程ハ行政廳ト同一ノ見解ヲ取リマシテ其訴訟ヲバ盡ク原告ノ敗訴ニ歸シタルデアリマス、トコロガ追々事實ヲ審理シ法理ヲ研究スルニ從テ、初メノ見解ガ誤ラデタルコト云フコトヲ覺エテ、後ニ至テハ社寺境内ノ土地ハ是ハ盡ク私有地デアルト云フ見解ヲ下シテ、遂ニ原告勝訴ノ判決ヲ下サウニナッタデアリマス、ソレ故ニ同性質ノ事件デアリマシマス、前ニ訴ヘタ者ハ負ケタ、後ニ訴ヘタ者ハ勝ツタ、例ヘバ同性質ノ事件デアリマシマス、前ニ判決ヲ受ケタコロノ高野山ハ負ケテシマッタ、後ニ判決ヲ受ケタコロノ叡山ハ勝ツタト云フガ如キ、斯様ナ不公平ナル結果ヲ來シマシタコトハ、是亦行政上及裁判上ニ於ケル大失態デアリマス、此事柄ノ不當不公平ナル處分ヲ取消シテ、社寺ノ權利ヲ回復シ、彼等ノ窮狀ヲ救ヒマスルノハ新ナル立法手段ニ訴ヘルヨリ外ニ途ハナシ、斯様ニ確信致シマシマスニ依テ、此議案ヲ提出致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ求メントスルデアリマス、此處ニ一言附加テ置キタイコトガアリマスガ、若シ斯ウ云フヤウナ土地ヲ社寺ニ返還シタラバ、彼等ハ自由ニ之ヲ處分シテ遂ニハ歴史上ノ風致ヲ害シ、其他種々有害ナル結果ヲ惹キコトガアルカモ分ラヌト云フ懸念ガゴザイマスカラシテ、之ヲ救フガ爲メ第五條於テ嚴格ナル制限ヲ設ケテ置キマシタ、即チ拂下ヲ受ケタル土地ハ主務大臣ノ許可ヲ得ルニアラザレバ一切處分スルコトガ出來ナイト云フ制限ガ設ケテアリマスカラ、此制限ニ依ッテ其懸念ハ取り去ラル、コト、信ジマス、更ニ一言附加ヘテ置キタイコトハ、本案ハ多年ニ跨ル本院ノ懸案デアリマス、第二十八回議會ニ於キマシテ社寺ノ總代ヨリ貴衆兩院ニ向ッテ請願ヲ致シマシタ、此請願ヲ兩院共ニ採擇シテ居ルデアリマス、次ニ第二十八議會ニ於キマシテ、此衆議院ノ請願委員會ハ更ニ之ヲ採擇シテ法律案ヲ起草致シマシテ、之ヲ本會ニ提出致シマシタガ、滿場一致ヲ以テ可決シタデアリマス、次ニ第三十議會ニ於キマシテハ、各派ノ代表者ガ之ヲ提出致シマシテ本議會ニ於テ再可決ヲシテ居リマス、又第二十一議會ニ於キマシテハ、是亦請願委員長ヨリ本案ヲ提出シテ滿場一致ヲ以テ可決シテ居ルデアリマス、斯ノ如ク屢々請願委員會ニ於テ採擇シ、屢々本會ヲ通過致シマシタガ、何時モ議會ノ閉會ノ際際際デアリマシタカラ、貴族院ニ於テ今日ニ至ルマデ其成立ヲ見ルコトガ出來ヌト云フノハ御互ニ遺憾トスル所デアリマス、又政府ノ中ニ於テ農商務省ハ之ニ反對ヲシテ居リマス、併シ本員ノ見所ニ依リマスレバ、其反對ノ理由ハ頗ル薄弱デアリマス、今回ハ政府當局者モ前議ヲ翻シテ、本案ニ全然賛成セラレ、デアラウト思フ、尙又今日最モ都合ノ宜イコトハ、現農商務大臣タル河野君ハ本案ニ付テハ最モ熱心ナル贊成者デアリマス、何ヲ以テ之ヲ言フカト申シマスル、同君ハ第二十八議會及第三十議會ニ於ケル本案ノ請願ニ付キマシテハ、多數ノ同志ヲ代表シテ紹介者トシテ自ラ署名シテ居ラレコトハ何ヨリ、證據デアル、又現遞信大臣タル箕浦君モ

贊成者ノ一人デアリマス、同君ハ第三十一議會ニ於ケル請願ニ付テ、是亦多數ノ同志ヲ代表シテ紹介者トナツテ居ラル、ノデアル、大臣ニシテ既ニ贊成者デアル以上ハ、其指揮命令ノ下ニ立タ、ル、所ノ政府委員諸子ハ、少クトモ本案ニ付テハ反對セラル、所ノ資格ガ無イト云フコトヲバ、充分ニ御記憶ヲ願フテ置キマス、本員ハ此兩大臣ノ平生ノ主張ガ今將ニ實現セラレントスルコトヲ喜ビ、併セテ此兩君ハ本案ノ成立、殊ニ貴族院ニ於ケル本案ノ成立ニ付テ最善ノ努力ヲ致サル、コトハ、本員ノ確信シテ疑ハヌ所デアリマス、願クハ滿場諸君ノ御賛成ト、政府ノ同意ト兩々相俟ツテ、本案ガ速ニ成立シ多年ノ懸案ヲ此ニ解決セラレムコトヲ切ニ希望致シマス（拍手起ル）

○福田又一君 本案ハ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ付託シ審査セラレシコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ト呼ブ者アリ）

○議長（島田三郎君） 福田君ノ説ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼ブ者アリ）

○議長（島田三郎君） 御異議ガ無イト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第八、醫師法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——辯明者關戸寅松君

第八 醫師法中改正法律案（山根正次君外二名提出） 第一讀會

醫師法中改正法律案

第八條第一項中「設立スルコトヲ得」ヲ「設立スヘシ」ニ改メ第二項中「內務大臣之ヲ定ム」ヲ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ニ改ム

（關戸寅松君登壇）

○關戸寅松君 私人本案提出ノ理由ヲ說明致シマシテ、諸君ノ御賛成ヲ仰ギタイと思ヒマス、本案ハ誠ニ簡單な法案デゴザイマスカラ說明モ至極簡單ニ致シマス、本案ノ目的ト致シマス所ハ、現行ノ醫師法ノ第八條ヲ改正スルノガ本案ノ目的デアリマス、現行ノ醫師法ノ第八條ニ依リマスル、斯様ニ規定サレタルノデゴザイマス、（醫師ハ醫師會ヲ設立スルコトヲ得）ト云フノガ第一項デアリマス、ツレカラ第二項ニ「醫師會ニ關スル規定ハ內務大臣之ヲ定ム」ト云フノガ同條ノ第二項デアリマス此條項ヲ斯様ニ改正シタイノデアリマス、醫師ハ醫師會ヲ設立スヘシト云フコトニ改正シタイノガ一ツノ目的デアリマス、ツレカラ同條ノ第二項ニ「醫師會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニ改正シタイノガ第二ノ目的デアリマス、ツマリ現行法ニ依リマスレバ醫師會ヲ設立スルコトヲ得タルノデゴザイマスカラ、醫師會ヲ設ケタルト否トハ今日ノ所デハ醫師ノ自由ニナツテ居ルデアリマス、併ナガラ現今ノ實際ノ狀態ハドウデアルカト申シマスル、全國各地到ル處ニ醫師會ガ設立サレタルノ實際ノ狀態ハドウデアルカト申シマスル、如何ニ實際ニ於テハ醫師會ガ設立サレタルノ實際ノ狀態ハドウデアルカト申シマスル、如何ニサレテ居ルノデゴザイマスカラシテ、此醫師法ノ第八條ヲ改正致シマシテ、必ズ醫師會ヲ設立スベシト云フコトニ改正致シマスルノガ最モ實際ノ必要ニモ當テザラシマシテ、此第一項ノ改正案ヲ出シタ次第デゴザイマス、ツレカラ尙醫師會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テツマリ醫師ノ業務、ツレカラ醫師ノ風紀、ツレカラ又醫師ノ名譽等ニ關スル事柄ハ之ヲ勅令ヲ以テ定ムルコト云フコトニ改正シタイト云フノガ本案ノ第二ノ目的デアリマス、以上ノ次第デゴザイマスカラ、ドウカ滿場諸君ノ御賛成ヲ希望致シマス（拍手起ル）

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託シ、審査セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(島田三郎君) 福田君ノ説ニ御異議ガナイト認マラス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第九、私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス——提出者林毅陸君

第九 私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案 第一讀會
(林毅陸君外二名提出)

第一條 左ニ掲クルモノノ用ニ供スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

一 私立ノ幼稚園小學校中學校高等女學校實業學校及專門學校
二 前號以外ノ私立學校ニシテ大藏大臣ニ於テ指定シタルモノ
三 日本赤十字社、恩賜財團濟生會其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公益法人

第二條 前條ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ハ幼稚園及學校ニ在リテハ校舍寄宿舎圖書館其ノ他必要ナル附屬建物ノ敷地運動場實習用地及保育又ハ教授上直接ノ用途ニ供スルモノニ限リ公益法人ニ在リテハ事務所敷地其ノ他事業ノ執行上直接ノ用途ニ供スルモノニ限ル
第三條 府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ免租セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(林毅陸君登壇)

○林毅陸君 此私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案ノ提出理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、是ハ會テ本議會モ通過致シテ貴族院ニ送ラレタコトモアル案デアリマス、其趣意トスル所ハ私立學校ノ用地並ニ赤十字社財團法人濟生會、其他勅令ヲ以テ指定セラレタ公益法人、是等ノモノ、用ニ供スル土地ニ對シテ、租稅ヲ免除シヤウト云フノデアリマス、此私立學校ニ關シテハ申上マデモナク教育獎勵ノ趣意ヨリ致シテ、官私ノ間ニ區別ヲ設ケナイヤウニスル、ソレガ爲メニロ、爲スベキコトガアリマスケレドモ、此私立學校ニ對シマシテハ租稅ヲ取ルコトモヤハリ區別ノ待遇ノ一箇條デアリマス、之ヲ撤廢致シテ官立學校等ト同シヤウナ風ニ取扱フト云フコトハ、即チ教育ノ獎勵ノ上ヨリ見マシテ當然ノコト、思フノデアリマス、其私立ノ諸學校ト申ス中ニハ、勿論幼稚園、小學校、中學校、高等學校、實業專門學校等總テ是等ヲ含ムノデアリマス、其他政府ニ於テ適當ナリト指定シタル私立學校モ含マレラ居リマス、其外慈善事業等ニ關シマスル赤十字社ナリ、或ハ濟生會等ノ公益事業ノ法人團體、是等モ同ジク地租ヲ免除セラレタルハ多ク辯明ヲ俟タズシテ相當ナコト、思ヒマスカラ、二ツヲ含メマレテノ免租案デアリマス、是ハ今マデ此議會ニ於テ同ジ形ニ於テ一度通過致シ、少シク變リタル形ニ於テ此間ニ一度通過シタコトガアル、山口縣選出久保通猷君ガ度々熱心ニ私立學校ノ用地免租ノコトヲ企テラレマシテ、既ニ二回此議會ニ案ヲ提出セラレタデアリマス、大正二年ニ久保君ガ提出セラレテ、ソレハ本院ニ於テ修正ノ上可決ヲ致シ、貴族院ガコレヲ決議スルニ至ラズシテ其儘終ツタコトガアル、ソレカラ大正三年ノ一月ニ久保君ガ再ビ案ヲ提出セラレマシテ、其場合ニモヤハリ私立學校ト云フモノガ主意ニナツテ居リタデアリマスガ、政府ノ方ニ於テハソレハカリテハ宜クナカラウ、ヤハリ慈善事業等

ニ相當ノ資格ノアルモノモ、ヤハリ免除スルト云フコトヲ含マセタ方ガ宜カラウト云フコトヲ、當時政府ノ案ト致サレテ今本員ガ此ニ提出致シテ居リマスル案ヲ出サレタデアリマス、ツマリ此案ハ久保君ガ出サレマシタ所ノ案ト、ソレカラ當時ノ政府當局者ガ考ヘラレマシタ新ニ加フベキ點ヲ添ヘテ、サウシテソレヲ混セ混ジテ雙方ノ趣意ヲ合セテ出來上ゲラレタモノデアリマス、大正三年ノ二月ニ本院ハ之ヲ可決致シタデアリマス、其場合ニ於テ唯或ル字句ニ就テノ意見ノ相違ガ少シクアリマシタケレドモ、殆ド全會一致ヲ以テ各派諸君ノ御同意ニ依ッテ通過ヲ致シタデアリマス、其字句ノ修正ハ極ク些々タルモノデアリマシテ、此案ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、第二條ニ公益又ハ教授上直接ノ用途ニ供スル云々ト云フ文字ガアリマス、此直接ト云フ文字ヲ省イタラドウカト云フコトハ私ノ意見デアリマシタ、ソレヲ其儘ニ殘シテ置キタイト云フノガ多數ノ意見デアリマシテ、直接ト云フ字ハ其儘保存サレテアッデ、其文字ニ就テ多少議論ガアツタ、其議論ヲ致シタモノ實ハ私デアッタデアリマス、私ハ其時ノ議論ハ撤回ヲ致シマシテ、成ベク此案ノ成立ヲ計リマスル爲メ、其當時ニ通過セラレタ案其儘ヲ提出致シタデアリマス、當時ノ大藏當局者、大藏ノ政府委員トシテ菅原君ナドハ熱心ニ此案ヲ作ル爲メ御盡力下スツタデアリマシテ、今回ノ政府モ定メテ御異議ハナイコト、思ヒマス、願クハ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、速ニ貴族院ノ方ニ迴シタイト思ヒマス、貴族院ニ迴リマシタ場合ニ於テハ丁度山本内閣ノ一番シマイノ時デアリマシテ、議會ハ停會ニナリ引續イテ其儘議會ハ開會ニナルト云フヤウナ狀態デアツタ爲メ、遂ニ貴族院ニ於テハ決議ニ至ラズシテ終ツタデアリマス、サウ云フ始末ニナツテ居リマスノデ、最モ是ハ惜ムベキ案ト思ヒマスカラ、私ガ諸君ト御協議ヲ致シテ此ニ提出ヲ致シタ所以デアリマス、何卒御調査ノ上、速ニ通過ヲ見ルヤウニ御運ビテ願ヒタイデアリマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託シ審査セラレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田又一君ノ動議ハ御異議ガ無イモノト認マラス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第十、中等教員優遇ニ關スル建議案、樋口秀雄君

第十 中等教員優遇ニ關スル建議案(河野正義君外三名提出)
中等教員優遇ニ關スル建議案
中等教員優遇ニ關スル建議案

教育者ノ優遇ハ當面ノ急務ニ屬ス就中中等教員ハ其ノ待遇ニ於テ最缺陥多キコトハ夙ニ朝野諸君ノ認ムル所ナリ現下ノ財政狀態ニ於テ遽ニ多大ノ國費ヲ投シ此ノ缺陥ヲ救ハムコト恐クハ不可能ナルヘシト雖或ハ名譽ノ表彰ニ依リ或ハ俸給ノ一部國庫補助ニ依リ或ハ年功加俸ノ制ニ依リ以テ現在以上ノ待遇ヲ講スルコト必シモ不可能ニ非ス政府ハ宜シク速ニ改善ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

(樋口秀雄君登壇)

(拍手起ル)

○樋口秀雄君 提出者ト致シマシテ本建議案ヲ提出致シマシタル理由ヲ申述ベタイト思ヒマス、此案ニ於テ中等教員ト申シテ居リマスノハ、普通ニ申慣ハシテ居リマスル中學校、師範學校、高等女學校及ヒ是ト同一程度ノ專門學校ヲ含メテ申シタデアリマス、元來我ガ教育界ノ進歩ガ近年ニ至リテ非常ニ著シキ成績ヲ見テ居リマスルケレドモ、

其教師タルベキトコロノ教員ノ待遇ノ途ニ關シテハ、何レノ方面ニ於テモ非常ニ缺陷ノ多イコトヲ云フコトハ、夙ニ朝野ノ識者ノ御認メニナリ居ルコトヲアリマス、就中小學校ノ教員待遇ニ於テ最モ遺憾ヲ極メテ居ルコトヲアリマスガ、是ハ幸ニ朝野ノ識者ノ議論ガ其筋ノ容ル、トコロナリマシテ、既ニ數回之ニ對シテハ改善ノ途ヲ講ジテ居リマス、例ヘバ年功加俸ノ制度ヲ設ケマシタガ如キ、若クハ小學校長其他ニ對シテ奏任待遇ノ途ヲ開ケマシタガ如キ、既ニ二三ノ改善方法ヲ講ゼラレテ居リマス、勿論之ヲ以テ十分ナリト申スコトハ出來マセヌケレドモ、此方面ハ多少著手セラレタニモ拘ハラズ、翻シテ中等教育ニ關スル方面ヲ見マスル、殆ド二十年來何等ノ改善モ加ヘラレテ居ラヌノアリマス、時運ノ進歩ニ伴ハザルコト甚シイハ中等教員ノ待遇法アリマス、今ヨリ二十年前ノ日本ノ狀態——假令現在ニ於テ日本ノ財政ガ餘リ富裕アリマセスト致シマシテモ、他ノ方面ニ於ケル官吏其他ノ公務ニ服スル者ノ待遇ハ、次第ニ改善ヲ加ヘラレテ居ルニモ拘ハラズ、中等教員ノ待遇法ガ未ダ改善ヲ加ヘラレナイハ、私ノ遺憾ニ思フコトヲアリマス、尤モ師範學校ノ校長ダケニ關シマシテハ、是ハ當然奏任待遇トナラテ居リマスノデ、數年以前ニ一般ノ官吏ニ増俸ヲサレマシタ同時ニ、極ク僅カナ優遇ノ途ヲ開ケラレタノアリマスケレドモ、其師範學校ノ教諭或ハ中學校ノ校長、中學校ノ教諭、高等女學校其他是ト同一程度ノ專門學校等ニ於テモ、他ノモノニ對シテハ更ニ優待ノ途ヲ開ケラレテ居ラヌノアリマス、是ガ此案ヲ提出致シマシタ第一ノ趣意アリマス、尙此案ニ付テハ實ハ提出者ニ於テ多少具體的ノ成案ハ持ッテ居リマス、待遇ノ官等ノ改正ニ於テモ或ハ俸給ノ增加率ニ於テモ、若クハ年功加俸制度ノ如キモノニ於テモ、種々ナル點ニ於テ多少ノ案ヲ持ッテ居リマスガ、是等ノ詳細ハ委員會ニ於テ述べルコトニ致シマシテ、極ク大體ニ付テ申シマシテモ、此待遇法上非常ニ遺憾ナル點ガ多イノアリマス、例ヘバ師範學校ノ校長ハ奏任五等ト定メラレテ居リマス、サウシテ僅ニ一等進メル途ガナイデハナイ、即チ高等官四等ノ待遇ヲ受ケ得ナイノデハアリマセヌケレドモ、而モ此四等ニナリマスルノハ特別例アリマシテ、五年以上勤務致シ且殊功ノアツタ者ニ對シテハ高等官四等ニスルノアリマス、ツレカラ俸給ニ於テモ二千二百圓ト云フコトニナッテ居リマスルガ、現在ニ於テ事實上二千二百圓ノ俸給ヲ受ケテ居ル者ハ殆ドナイ、又中學校ハ更ニ是ヨリ低クアリマシテ、中學校ノ校長ニ於テハ高等官五等ガ止マリデアリマス、ツレ以上ノ待遇ハ受ケ得ラレナイコトニナッテ居リマス、而シテ俸給ニ於テハ二千圓トナッテ居リマスケレドモ、此二千圓ノ俸給ヲ受ケマスル中學校ノ校長ハ、現在ニ於テハ殆ド無イト云フヤウニ承知致シテ居リマス、更ニ其教諭ニナリマスルコトニ云フ、師範中學校ヲ通シマシテ千八百圓ガ物質的待遇ノ極度アリマシテ、是以上更ニ待遇スル途ガ開ケテ居リマセヌ、尙不思議ナ事ニハ同ジク高等官ノ待遇ヲ受ケマスルモノデアリナガラ、一般ノ奏任官ニ於キマシテハ此任命後二箇月デ既ニ敘位ト云フ待遇——特別ノ待遇ヲモ附加シテ受ケテ居リマス、然レニ此中等教員ニ於キマシテハ三箇年ノ間勤務シタ後デナケレバ、是ダケノ特典ヲ受ケテラレナイ、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ル、又尙文部省ノ中等教員ニ對スル待遇ノ中デ、私共ノ不思議ニ思ハマスルハ文部省ノ直轄學校校ト、サウシテ此府縣ノ公立ノ中等學校ト、間ニ非常ナ區別ヲ立ッテ居リマス、直轄學校ニ於キマシテハ同ジ資格ノ者ガ其教授ニナリマス、直ニ高等官ノ待遇ヲ受ケルコトニナリマスガ、同ジ資格ノ者ガ轉ジテ地方ノ中學ナリ、師範學校ヘ赴任致シマスト、一箇年ノ間ハ此待遇ガ受ケラレスト云フ、斯ウ云フ制限ヲ設ケテ居ル、又是ノミデハナイ、尙甚ダシキハ同ジ中等學校ト認メマシテ居リマス——文部省ニ於テサウ認メテ居リマス所ノ學校ノ中デ、臺灣國語學校ト云フモノガアリマス、ツレカラ朝鮮ニ於ケル中學校ガアリマス、此臺灣ノ方ノ國語學校ニ於テハ校長ハ同ジ中等程度ノ學校デアリマシテ、高等

官三等ト云フコトニナッテ居リマス、内地ニ於テハ五等ガ普通デ、特別ノ五箇年以上勤務ヲ致シテ、功勞アル師範學校長ノミガ獨リ四等ニ追ッテ得ルニ拘ラズ、臺灣ニ於キマシテハ此中等學校タル國語學校ノ校長ハ、高等官三等ト云フ優遇ヲ受ケテ居リマス、而シテ其俸給ニ於テモ二千五百圓デアリマスカラ、内地ニ於テ——此臺灣ノ如キ新領土デナク、内地ニ於テ最モ多數ノ未來ノ國民ヲ引受ケテ、最モ必要ナル精神教育ニ從事スル爲ニ努力致シマスル者ハ待遇ガ惡クテ、新領土ニ於テ比較的少數ノ生徒ヲ預ッテ之ニ訓育ヲ施シマスル者ハ待遇モ宜ク、俸給ニ於テモ遙ニ多イト云フハ私共カラ考ヘマスルト、更ニ其理由ヲ發見スルコトガ出來ナイノアリマス、又朝鮮ノ中學校デモサウデアリマス、朝鮮ノ中學校長モ高等官三等ノ待遇ヲ受ケテ居リマス、サウシテ俸給ガハリ二千五百圓ト云フコトニナッテ居リマス、シマスルコト云フ内地ノ舊來ノ日本國土内ニ於テ同ジク教育ニ從事シ、中等學校ニ奉職シマスル者ハ新領土ノ——新附ノ領土ノ教員トナッテ居ル者ヨリハ遙ニ待遇ニ於テモ——名譽ノ待遇ニ於テモ、亦物質上ノ待遇ニ於テモ遙ニ惡イト云フヤウナ斯ウ云フ偏頗ナ結果ヲ招イテ居リマス、是モ此直轄學校ニ於ケル教授ニ對シテ待遇ヲ厚クシ、他ノ府縣ノ公立學校ニ對シテ薄クスルト同様ナ、一種ノ偏見ニ基ク制度上ノ不備デアラウト私共ハ信ジテ居ルノアリマス、斯ノ如キ待遇法ガ何故ニ差等ヲ設ケラレテ居ルカト云フ理由ニ付テハ、私共ハ十分承知致シマセヌガ、唯眼前ノ事實ト致シマシテ斯ノ如キ不公平ナル、而モ甚ダ手薄ナル待遇ヲ受ケテ居リマス所ノ中等教育ガ、動モシマスルコトニ云フ、近來此中等學校ニ於ケル生徒ノ成績ガ宜シクナイ、曰ク風紀ノ頹廢アル、或ハ教職員ノ濫職アルト云フヤウナ面白クナイ問題ガ頻發スル爲ニ、最モ攻撃ノ中心ニナッテ居リマスルノハ其人ヲ咎ムベキカ、寧ロ翻ッテ此制度ノ根本上ノ缺陷ノ上ニ改善ヲ加ヘネバナラヌト云フコトハ、深ク議論ヲ須非ズシテ明カナル問題デアラウト私共ハ信ズルノデゴザイマス、其故ニ此待遇ヲ一變シマシテ現在ノ財政狀態ニ於テ十分ナル物質上ノ給與ガ不可能デアルト致シマシテモ、切メテハ一部分ノ俸給ト云フモノヲ國庫カラ補助致シマストカ、若クハ官等上ノ待遇ヲ優ニシテヤルカ、或ハ既ニ其筋ニ於テモ多年攻究中ニナッテ居ルト承ジテ居リマスガ、教育者ニ對スル特別ノ勳章、教育勳章ト云フガ如キ他國ニモ例ノアリマスルモノヲ新タニ設定シテ、此優遇ノ方法ヲ講ズルコトカ、何レニシマシテモ彼等ノ地位ヲ向上セシメテ、國家ガ此教育者ト云フ者ノ功勞ニ對シテ十分認識シテ居ルト云フコト、又之ニ對シテ出來得ルダケノ範圍ニ於テ、優待ノ方法ヲ講ズルコト云フコトヲ明カニ致シマセヌケレバ、今ニ於テ既ニ多少ノ非難ヲ招キツ、アル所ノ此教育界ノ腐敗ト云フモノガ、更ニ一層増進スル愛ガナイデハナカラウカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、政府側ニ於テハ動モ致シマスルコト、此教育界ニ於ケル人才ノ拂底、其他ノ事實ヲ此待遇ノ比較ト云フコトニ歸著セシマシテ、他ニ種々ナル理由ヲ設ケテ説明シテ、僅ニ之ヲ見逃ガサウトスルヤウナ弊ガ無イデモアリマセヌケレドモ、如何ニ教育者ヲ申シマシテモ一般ノ人々ト異ッテ食ハズ飲マズシテ生活スルコトハ出來ナイ、況ヤ多年其貧窮ナル待遇ノ下ニ、此最モ重要ナル教育ノ任ニアリマスル者ガ、現在ノ統計上ノ事實カラ見マシテ——肺結核患者ヲ持ッテ居ルコトカ、若クハ中等教員ニ於テハツレ程ノ數デアリマセヌガ、多數ノ病人ヲ出シテ居ルトカ、若クハ生活難ノタメニ或ハ父兄ノ贈遺ヲ受ケ、其他ノ思ハシキ事實ニ依ッテ非難ヲ受ケル者ガ次第ニ多カラントスル傾向ヲ見マスルコト云フ、此問題ハ一日モ放擲スベカラサル問題ト考ヘルノデアリマス、此待遇ノ法ニ付テハ委員會ニ於テ十分ノ御審議ヲ願フ積リデアリマスガ、例ヘバ一例ヲ申シマセバ、此全國ノ中等教員ノ俸給ト云フモノハ平均額ガ一致シテ居リマセヌ、府縣ノ狀況ニ依ッテ非常ニ厚薄ガアル、而モ其職責タルヤ同一ノ責任ヲ課セシ

メラレ、サウシテ同一ノ程度ノ貢獻ヲ致シテ居ル者ニ對シテ、斯ノ如キ厚薄深淺ノアルト云フコトハ、是亦看過スベカラザルコトアルト思フ、此中等教員ノ俸給ガ府縣其他ニ依テ異ナルト云フヤウナコトヲ、之ヲ矯正シマスル爲ニ俸給ノ上ニ多少ノ國庫補助ヲ致ス位ノコトハ、今ノ財政ヲ以テシテモ、決シテムカシイコトナイト、私共ハ思フノデアリマス、況ヤ此等上ノ待遇ヲ他ノ一般官吏、若クハ少クモ直轄學校ト然ラザルモノトノ間ニ區別ヲ立テルヤウナコトガナク、均一ニ一般的ニシテ、サウシテ臺灣ノ國語學校或ハ朝鮮ノ中學校ニ於ケルト同様ノ待遇ヲスルコト云フコトハ、如何ナル點カラ考ヘテモ決シテ非難ノアルベキ問題デハナイト、信ズルノデアリマス、又小學教員ニ對シテ既ニ途ヲ開キマシタ所ノ年功加俸ノ制度ヲ設ケ、此加俸額タケテ國庫カラ補助スルコト云フ方法モアリマセウシ、尙進シテ彙ニ申述セマシヤウナ、教育者ニ對スル特種ノ勳章ノ制度ト云フヤウナモノモ、或ハ制定スルコトガ必ズシモ出來難イ問題デハナイト思ヒマスカラ、是等ノ點ハ詳細委員會ノ慎重ナル御審議ニ譲リマスルガ、サウシテ私ノ案ハ其場所ニ於テ詳細ニ申述セマスルガ、大體ノ趣意ニ於テ朝野何人モ異論ノナイ問題ト信ジマスカラ、是ハ政黨派ノ關係ナク、全院一致ヲ以テ此問題ニ御協賛ヲ賜ハランコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手起ル)

○福田又一君 本建議ヲ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス

(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ御異議ナイト認メマス、依テ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第十一、大阪堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案、提出者石橋爲之助君

第十一 大阪、堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案(石橋爲之助君)

大阪、堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案
大阪、堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案
右建議ス

(石橋爲之助君登壇)

○石橋爲之助君 本案ハ極メテ簡單ナ案デアリマス、大阪堀川兩監獄ヲ市外適當ノ地ニ移轉セシコトヲ望ムト云フ建議デアリマス、二ツノ監獄ノヤウニ見エマスガ、實際ハ同ジ場所ニ在リマスノデ、之ヲ一ツノモノト見做シテ差支ガナイデアリマス、此監獄ハ明治十五年七月ノ設計ニ依リマシテ、明治二十四年ニ建築ガ落成致シマシタモノデアリマシテ、當時ハ此邊ハ市外ノ田圃ノ真中デアリマシタガ、今日ハ其周圍ニ多クノ人家ガ建連リマシテ、立派ニ市街ノ中央ト爲テ居リマス、然ルニ此監獄ノアリマスル爲ニ此方面ノ發達ガ他ノ方面ニ比較シマシテ、ドウシテモ妨害ヲ受ケテ居ル形デアリマシテ、或學校ノ如キモ小學校ガ移轉シナケレバナラヌヤウナコトニナッタ事實モアリマス、又最近ニ於キマシテハ市街電車ガ其側ヲ通ルヤウニナリマシテ、電車ノ上カラ監獄ノ内部ガ見ユルデアリマシテ、監獄見物ヲ電車デスルト云フヤウナ連中ガ段々出來マシタノデ、司法當局ニ於ケレマシテモ、サウ云フ不都合ヲ防ガ爲ニ目隱シマシタト云フヤウナ不體裁ノ狀態デアリマス、又罪人ヲ始終繋イテ往來致シマス爲ニ、附近ノ子供ガツレニ見做レテ繩付ノ真似ヲシテ遊ブト云フヤウナ、誠ニ憂フベキ所ノ害モ出テ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、故ニ斯様ナ不適當ナ場所ニ之ヲ置イテ置クヨリモ、市外ニ適當ナ場所ヲ擇ンデ移

スコトガ最モ急務デアルト云フコトヲ感シマシタ、故ニ此建議案ヲ出シテ譯デアリマス、殊ニ此建築其物モ餘程舊式ニ屬シテ居リマシテ、治獄上ニ於テモ甚ダ遺憾ノ點ガ多イデアリマス、現在ノ囚人ノ數ハ三千二百人デアリマシテ、即チ大阪監獄ノ方ニ既決囚ヲ置キ、堀川監獄ノ方ニ未決囚ト婦人未成年トヲ收容致シテ居リマス、一箇所ニ斯ノ如キ多數ノ囚人ヲ收容シテ居ルコトハ、實ハ日本一ト云フテ宜シイガ、サウナクシテ世界一デアリマシテ、諸外國ニ於テモ最モ多イ所ガ五百位ノ程度デアルヤウニ聞イテ居リマス、サウシテ其構造ガ雜居制デアリマシテ、六七疊敷ノ其室内ニ九人若クハ十人ヲ容レテ居ルノデアリマスカラ、到底斯様ナ有様デ此罪人ヲ還善感化スルコト云フコトハ思ヒモ寄ラヌコトデアリマシテ、寧ろ此雜居ノ間ニイロ／＼罪惡ヲ教ヘラレテ、全ク此監獄ガ罪人養成ノ學校ノ如キ狀態トナッテ居ルノデアリマス、故ニドウシテモ之ヲ市外適當ノ地ニ移スト云フコトハ、最モ急務要スル次第デアッテ、之ヲ致シマスルニハ經費ガ大分ニ掛カルコトデアリマスカラ、其點カラ今日マデ行ハレナカッタコトデアラウト思ヒマスガ、併シ前申シマス通り此方面ハ立派ナ市街地トナッテ、サウシテ地價モ騰貴シテ居ルコトデアリマスカラ、此面積總テ五萬九千二百三十三坪デアリマスカラ、之ヲ時價二十五圓以上、若シ宜シケレバ三十圓位ニ之ヲ賣拂フコトガ出來マシタナラバ、優ニ其金ヲ以テ完全ナル新式ノ監獄ヲ造ル他ニ造ルコトハ容易ナコトデアリマス、既ニ先年來此問題ニ付テハ、本員モ當局者ト交渉ヲ致シタコトモアリマシテ、當時ノ河村司法次官ノ答辯ニ依リマスルト、其移轉スル先キハ三萬坪ノ箇所ガ二箇所アレバ宜シイノデアッテ、其移轉ノ建築費ハ土地代ヲ除イテ百六十萬圓アレバ出來ルト云フコトデアリマシタ、其内今日ハ未決ノ囚人ハ今現ニ建築ガ落成セントシテ居リマスニコロノ裁判所ノ一部ニ收容スル計畫デアリマスカラ、ツレガ出來上ルトナレバ未決ノ囚人ハ省ケル勘定ニナリマスカラ、是程マデノ費用ヲ投ゼストモ實行ノ出來ル譯デアリマスカラ、一方ニ現在ノ土地ヲ賣リマシタラ、確カニ理想的ノ獨房制ノ最モ進歩シタル所ノ新監獄ガ建ツコトニナルデアリマス、故ニドウカ此趣旨ニ依リマシテ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ政府ハ速ニ實行ニ著手スルニ至ラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○福田又一君 本建議案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ異議ガナイト認メ、福田君ノ發議通り決シマス——日程第十二、京都監獄移轉ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者森田茂君

第十二 京都監獄移轉ニ關スル建議案(森田茂君提出)

京都監獄移轉ニ關スル建議案
京都監獄移轉ニ關スル建議案
右建議ス

○森田茂君 森田茂君登壇
森田茂君 森田茂君登壇
森田茂君 森田茂君登壇

○森田茂君 森田茂君登壇
森田茂君 森田茂君登壇
森田茂君 森田茂君登壇

柄ハ當然ノ事柄アリマス、併ナガラ必要ノ上カラ申上デマスレバ、寧ロ京都ト大阪ト比ベマスルナラバ、京都ノ方ガ姉妹案ト致シマスルコト云フト、是ハ姉ノ方ニ屬スル部分ニナデ居ルノデアリマス、現ニ司法省ニ於キマシテモ、京都監獄ヲ他ニ移轉サセムナラヌト云フコトニ付キマシテハ、是ハ焦眉ノ急デアルト云フ事柄ヲ豫テ考テ致シマシテ、明治四十二年ノ頃ニ於テ既ニ其實行ノ事柄ヲ計畫ヲ致シタ事ガアリマス、ソレハ京都市ガ道路擴張及軌道敷設ノ結果ト致シマシテ、監獄署ノ直ニ北側又直ニ西側ニ沿ヒマシテ軌道ガ通ル、斯ウ云フ結果ニナリマシタル爲ニ、獄内ハ殆ド獄外ト同シヤウナ混雜ヲ耳ニスル、響ヲ耳ニスルト斯ウ云フヤウナ甚ダ不都合ヲ來シテ居ル事柄モ一點、ソレカラモウ一ツニハ此京都監獄ハ御承知ノ如ク二條ノ離宮ナルモノト、即チ二條離宮ト僅ニ街路一ツヲ隔テマシテ相鄰シテ居ルト云フヤウナ甚ダ不都合ガアリマス、昨年ノ御大禮ニ付キマシテ、御參列ニナリマシタル諸君ハ如何ニモ京都監獄ガ離宮ニ對シテ餘リ接著致シ過ギテ居リテ、恐多イト云フコトハ諸君ガ親シク御覽下サタコトダラウト考ヘマス、司法當局ニ於キマシテモ、之ヲ最モ焦眉ノ急トシテ考ヘテ居ラレマス、事柄ハ、私共ガ其内意ヲ承ツテ居ルトコロニ依リマス、此二條離宮トノ關係ニ於テ甚ダ恐多イト云フ意見ヲ持ツテ居ラル、事柄ガ其一ツノ主モナル理由デアルト云フコトヲ承知ヲ致ス、次第デアリマス、斯ウ云フ次第カラ考ヘテ見マスルコト云フト、監獄ノ移轉ト云フコトヲ目論ムコトニ致シマスルナラバ、先ツ京都ヲ第一ニシテ貫ハナケレバナラヌト云フ事柄ヲ私ハ申上ゲテ決シテ不都合デナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、其他京都ノ上カラ申シマスレバ、監獄所在地ハ此日本ニ於キマスル機業地トシテ有名ナル西陣ノ特ニ發達スベキ方面ニ位シテ居ル、又山陰線ノ全通ノ結果ト致シマシテ、其主要ノ驛トナルベキ一條驛、之ニ甚ダ接著ヲ致シ過ギテ居リマス故ニ、此監獄所在地ノ方面ハ京都市ガ將來發達スル上ニ於テ、誠ニ必要ナル場所アルニモ拘ラズ、是ハ事實ニ於キマシテハ其發達ヲシナイト云フコトハ、全ク監獄ノアル爲デアル、是ハ都市政策ノ上カラ考ヘマシテモ、必ズ移轉ヲ速ニシテ貫ハナケレバナラヌ必要ガアルデアリマス、ソレ等ノ理由ニ依リマシテ、本員ハ多數諸君ノ贊成ヲ得マシテ、サウシテ此建議案ヲ提出致シタヤウナ次第デアリマス、尙此事柄ニ付キマシテ先ニ申上ゲマシタルガ如ク、既ニ司法省ニ於キマシテモ其調査ハ致サレテ居ルヤウナ始末デアリマシテ、又私共モ此事ハ多少承知ヲ致シテ居ル事實モアリマスルガ、是等ノ詳細ニ付キマシテハ、何レ委員會ニ於キマシテ政府當局ノ意見モ確メ、又私共ノ考ヘテ居リマスル事モ申上ゲタイト思フデアリマス、ドウカ諸君ノ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

(拍手スル者アリ)

○福田又一君 前ノ日程ノ監獄移轉ニ關スル建議案ト、同一委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ガナイト認メマス、前日程第十一ノ建議案ト同シ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程ハ終リマシテ、是ヨリ報道事件ガアリマスカラ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國籍選擇ニ關スル建議案

提出者 森田 小六郎君 頼母木 桂吉君 田村 新吉君
相島 勘次郎君 岡崎 久次郎君

慢性傳染病豫防ニ關スル建議案
提出者 山根 正次君 江間 俊一君
高木 益太郎君 今村 七平君
飛驒鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 岡崎 久次郎君 坂口 拙三君
大場 竹次郎君 關野 善次郎君
山田 正年君 森丘 覺平君
河崎 助太郎君 古屋 慶隆君
質屋取締法中改正法律案
提出者 黒須 龍太郎君 今井 喜八君
富安 保太郎君 平沼 亮三君
田畑地價修正ニ關スル建議案
提出者 有田 溫三君 島田 保之助君
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
對米及對支外交ニ關スル質問主意書
提出者 石橋 爲之助君
○議長(島田三郎君) 次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會
午後四時四十五分散會